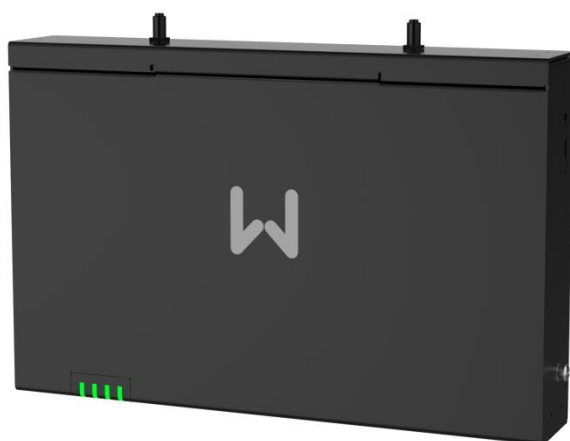


# データ管理設備

EzLogger3000C

ユーザーマニュアル



著作権に関する声明：

**Copyright © GoodWe Technologies Co., Ltd. 2025. All rights reserved.**

文書によるGOODWEの事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても複製または転載は許されません。

## 商標および許諾

**GOODWE** およびその他のGOODWEの商標はGoodWe Technologies Co., Ltd.の商標です。本書に記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

## 注意

製品のバージョンアップ及びその他の原因で、本書の内容は不定期的に更新されることがあります。特別な約束がない限り、本書の内容は取り扱いの参考に限り、製品本体に貼り付けるラベルに記載された安全注意事項に代わるできません。

# 1 概要

本書は、該当のデータ収集設備（以下は「EzLogger」）の製品情報、電気接続、配置調整、故障排除及びメンテナンスについて説明しています。EzLogger を設置、使用する前に、まず本書を通読して、安全に関する情報を理解し、EzLogger の機能と特徴を熟知してください。本書は不定期に更新されますので、GOODWE 公式サイトで最新バージョンのドキュメント及び製品情報を取得ください。

## 1.1 対象製品

本書は、型式が EzLogger3000C であるスマートデータ収集設備 EzLogger3000C に適用しています。

## 1.2 対象者

本書は、地域の法律や規定、電気システムまたは本製品を熟知した専門家を対象としています。

## 1.3 記号の凡例

本書を作成する際に、以下の記号を使用しています。その定義と説明をよくお読みください

### 危険

高程度の潜在的危険を伴う状況を示します。取り扱いを誤った場合は、死亡または重傷までにつながります。

### 警告

中程度の潜在危険を伴う状況を示します。取り扱いを誤った場合は、死亡または重傷までにつながる可能性があります。

### 注意

低程度の潜在危険を伴う状況を示します。取り扱いを誤った場合は、軽傷または中程度のけがにつながります。

### 注記

本書内容の補足であり、特定問題の解決や時間の節約、製品の使用を最適化するためのヒントやコツでもあります。



## 2 安全事項

### 注記

EzLogger は安全規定に従って厳密に設計およびテストされているが、電気設備として、不適切な操作を行うと重大な傷害や財産損害が発生し得るので、事前に安全上の説明を受ける必要があります。

### 2.1 一般的な安全事項

#### 注記

- 製品のバージョンアップ及びその他の原因で、本書の内容は不定期的に更新されることがあります。特別な合意がない限り、本書の内容は取扱の参考、製品本体に貼り付けたラベルに記載された安全注意事項に代わることはありません。
- EzLoggerを設置する前に本書をよく読んで、製品および注意事項を理解してください。
- EzLoggerに対するすべての操作は、資格のある専門の電気技術者が行うこと。技術者は、案件該当地域の規準と安全規制詳しい人間とします。
- 本書または取扱説明書に従って EzLogger を設置、使用、設定しなかったことによって発生した機器の損傷または人身傷害は、機器メーカーの責任の範囲内ではありません。製品保証の詳細については、以下の公式 Web サイトをご覧ください: <https://jp.goodwe.com/warranty>。

### 2.3 接地安全

#### 危険

EzLogger を設置する時、設置場所が堅固で、安定していることを確認してください。

#### 警告

設置する前に、EzLogger が確実に接地されていることを確認してください。

## 2.4 人身安全

### 危険

- EzLogger を設置するときは、個人の安全を確保するために絶縁工具を使用し、個人用保護具を着用する必要があります。
- EzLogger がショートした場合は、機器に触れずにすぐに電源を切ってください。
- EzLogger に電気接続を行う前に、上位のスイッチをすべてオフにして、EzLogger が電源入っていないことを確認してください。

## 2.5 製品の安全

### 危険

設置する前に、EzLogger が確実に接地されていることを確認してください。

### 警告

- EzLogger の設置、保守を行う前に、適切な工具を使ってマニュアルに従って操作してください。
- EzLogger を操作するときは、該当地域の基準および安全規制に従ってください。
- 不正な分解や改造は機器の損傷を引き起こす可能性があり、この損傷は保証の対象外となります。

## 2.6 ラベルの説明

### 危険

- EzLogger を設置した後は、筐体上のラベルと警告標識がはっきりと見えるようにし、隠したり、変更したり、損傷したりすることはいけません。
- EzLogger の筐体に貼られているラベルは次のとおりです。

	<p>高電圧感電のリスクがあり、設備が動作中は高電圧が発生します。設備を操作するときは、電源がオフになっていることを確認してください。</p>		<p>設備が動作中には潜在的な危険が存在します。操作する際には十分注意してください。</p>
	<p>機器を操作する前に、製品の説明書をよくお読みください。</p>		<p>パソコンは家庭廃棄物として処分できませんので、当地の法律および規制に従って処分するか、パソコンの製造元に返送してください。</p>
	<p>TELEC マーク</p>		

## 2.7 関連者に対する要望

### 注記

- EzLogger の設置および保守を行う担当者は、最初に徹底的にトレーニングを受け、安全上の各注意事項を理解し、正しい操作方法を習得する必要があります。
- EzLogger の設置、操作、保守、交換は、資格のある専門家または訓練を受けた担当者のみが行うことができます。

## 3 製品紹介

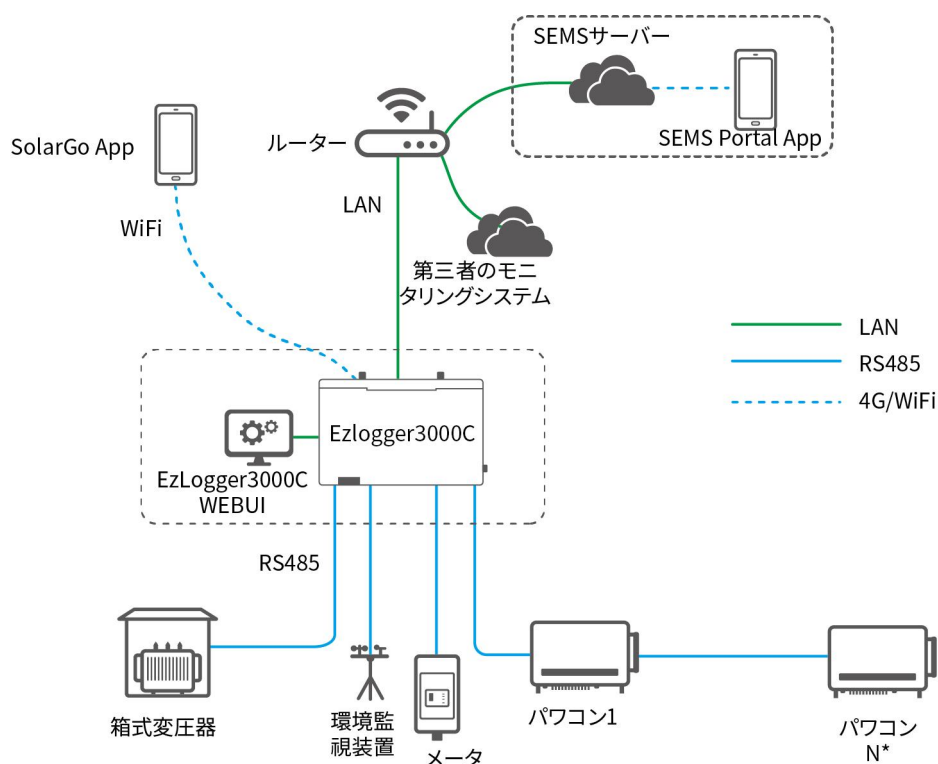
### 3.1 機能説明

データロガーは、太陽光発電システム監視・管理プラットフォームの専用装置です。太陽光発電システム内のパワコンや環境監視装置、メーターなどの機器からデータやログを収集し監視・管理プラットフォームにデータを送信することで、太陽光発電システムの監視・運用・保守を実現しています。

### 3.2 ネットワーク応用方式

EzLogger は PV 発電システムに適応します。

- RS485 通信で電力メーター、パワコン、環境監視装置、変圧箱などの RS485 通信導入した機器へ接続できます。
- イーサネットでルーター、PC、発電所の管理および監視システムなどに接続できます。

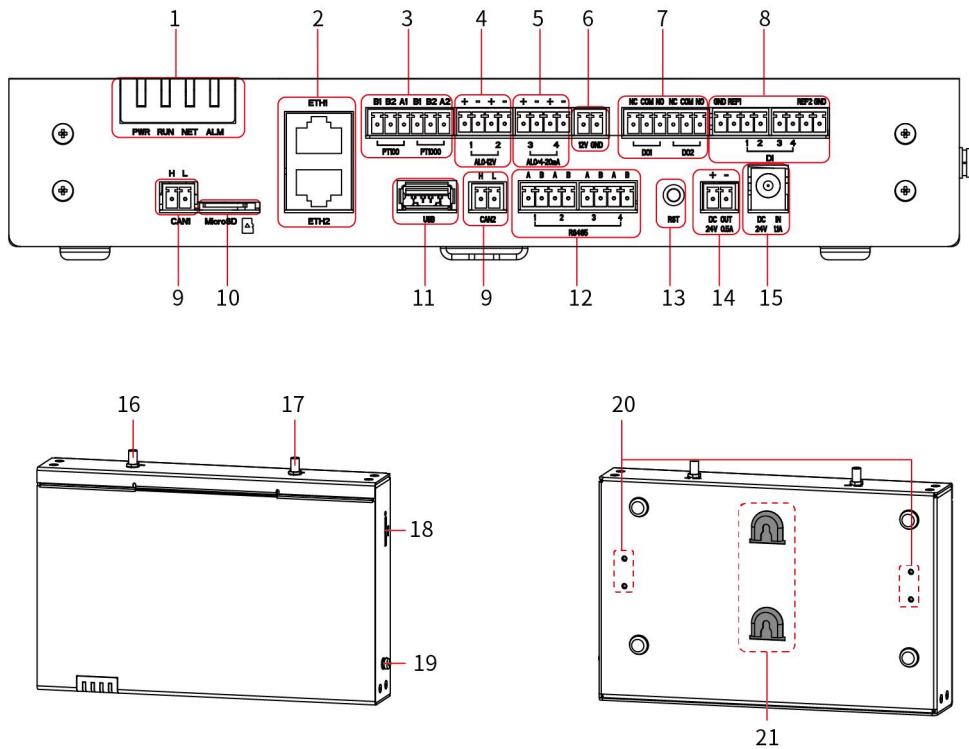


\*ルーターにファイアウォール保護がある場合は、カスタマーサービスセンターにお問い合わせ

してください。

\* 一つの RS485 ポートに、最大 20 台の PCS が接続できます。

### 3.3 外観

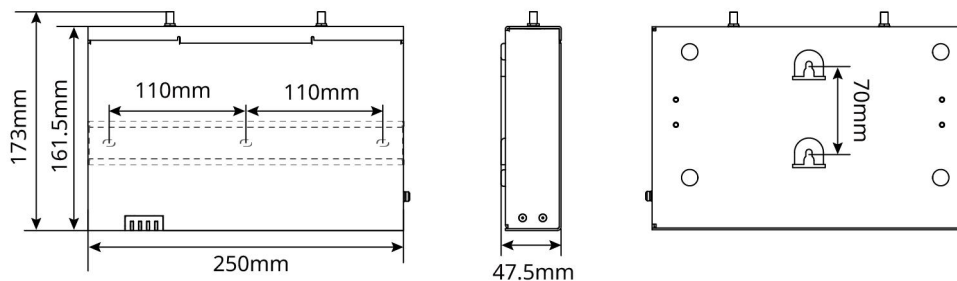


No.	ポート名称	説明
1	表示灯	設備の運転状態を表示します
2	LAN ポート (ETH1/2)	LAN ポート <ul style="list-style-type: none"> <li>● ETH1：外部ネットワークと通信します</li> <li>● ETH2：外部ネットワークまたは WEBUI と繋がります</li> </ul>
3	温度センサーポート (PT100/PT1000)	温度センサー PT100/PT1000 と接続します

4	AI 通信ポート (AI_0-12V)	0-12V AI 信号入力
5	AI 通信ポート (AI_0-20mA /4-20mA)	0-20mA /4-20mA AI 信号入力
6	12V 電源出力ポート (12V GND)	12V DC 出力します
7	DO 通信ポート (DO1/2)	DO 信号出力
8	DI 通信ポート (DI)	DI 信号入力ポートは、ウェット接点またはドライ接点信号の接続に対応
9	CAN 通信ポート (CAN 1/2)	CAN 通信ポート (予備)
10	MicroSD カードスロット (MicroSD)	MicroSD カードスロット, EzLogger の稼働、操作および保守のログ情報を保存します
11	USB ポート (USB)	ソフトウェアアップデート用の USB 端子
12	RS485 通信ポート (RS485 1-4)	RS485 通信ポートを使用して、パソコン、電力量計、環境監視装置などの RS485 通信機器と接続できます
13	リセットボタン (RST)	1 ~ 3 秒間短く押すと、EzLogger が再起動します。 6 ~ 20 秒間押し続けると、EzLogger が再起動し、工場出荷時の初期化状態にリセットされます
14	直流出力ポート (DC OUT 24V 0.5A)	24V 直流電源出力ポート
15	入力電源ポート (DC IN 24V 1.1A)	24V 直流電源入力ポート
16	Wi-Fi アンテナ (Wi-Fi ANT)	● Wi-Fi ホットスポット信号に使用されます

		<ul style="list-style-type: none"> <li>EzLogger が金属製の盤やボックス内、または金属屋根やコンクリート屋根の下に設置されている場合は、信号を強化するために外部吸盤アンテナまたは RF 延長ケーブルを使用することをお勧めします。推奨仕様：WiFi2.4G</li> </ul>
18	SIM カードスロット (SIM)	SIM カードスロット
19	保護接地ボルト	筐体を接地するために使います
20	ガイドレール取付穴	ガイドレールで設置する時に使います
21	壁掛けの取付穴	壁掛けで設置する時に使います

### 3.4 寸法



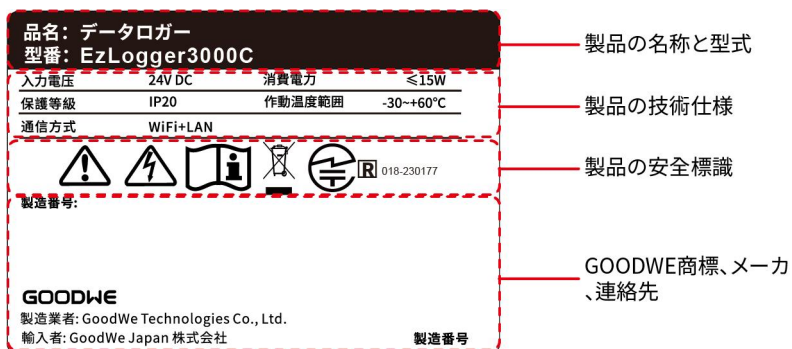
### 3.5 表示灯の説明

表示灯	状態	説明
PWR		点灯： EzLogger の電源が入っています
		消灯： EzLogger の電源が入ってないまたは電源異常
RUN		緑点灯/消灯： EzLogger の運転が異常です

		0.5s ON/0.1s OFF, 2 回：EzLogger が正常運転中
NET		緑点灯：EzLogger とサーバーの通信は正常です
		0.5s ON/0.5s OFF, 2 回：EzLogger がルーターと繋がっていません
		0.5s ON/0.5s OFF, 4 回：EzLogger がルーターと繋がりましたが、サーバーと接続できません
ALM		赤点灯：全パワコンが故障しています
		0.5s ON/0.5s OFF, 4 回：EzLogger がアップデート中
		赤消灯：EzLogger と繋がっている EzLogger の中に少なくとも一台の PCS が正常運転しています

### 3.6 銘板の説明

下図の銘板は参考のみ、実物に準じてください。





## 4 製品の検査と保管

### 4.1 受け取る前の検査

受け取り前に、まず以下の内容を確認してください：

1. 箱の外装を確認し、もし変形、破損、割れ目及び他の内容物に損害を与える可能性がある不具合があれば、外装を開けずに販売店にご連絡ください。
2. パワコンの型式が正しいかを確認し、もし不一致の場合、外装を開けずに販売店にご連絡ください。
3. 内容物の仕様、数量が正しいかを確認し、もし外観に傷がある場合、販売店にご連絡ください。

### 4.2 製品保管

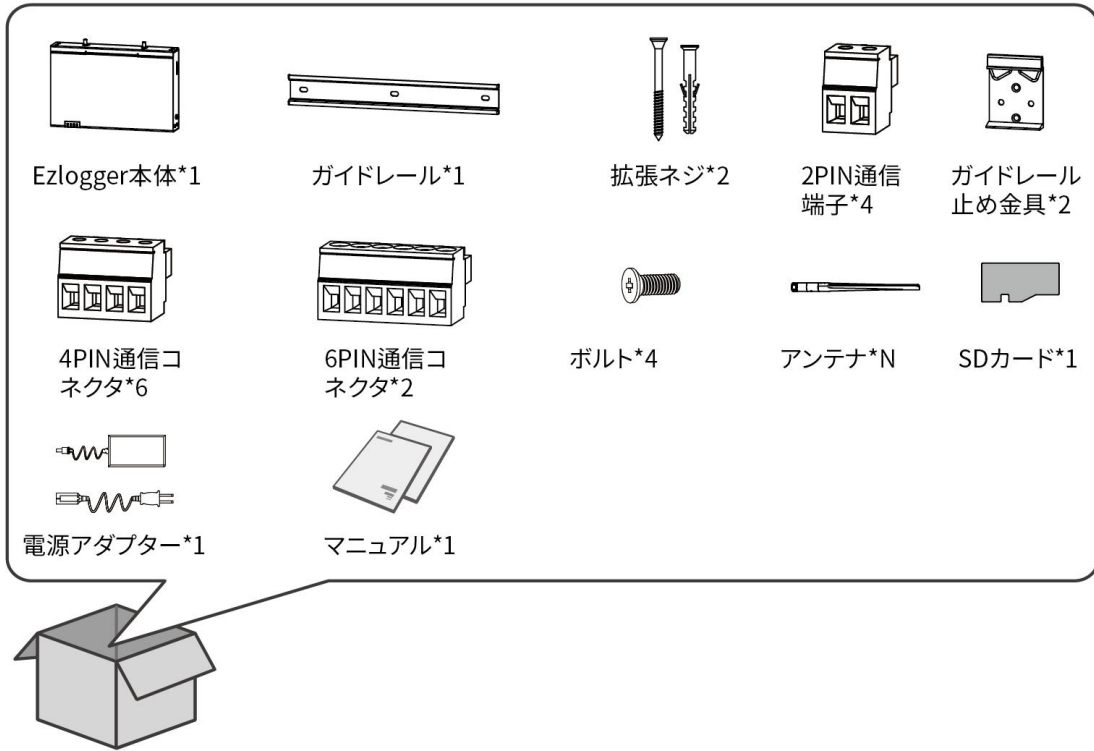
EzLogger は暫く使用しない場合は、次の要件に従って保管してください。

1. 製品外箱そして箱内の乾燥剤が紛失していないか確認してください。
2. 保管環境が清潔で、温度と湿度が適切な範囲で、結露しないことを確認してください。
3. 製品を長期間保管したら、再度使用する前にプロの人員に検査と確認にってもらう必要があります。

### 4.3 同梱物

#### 注記

- 同梱された端子を使用してください。他型式の端子を使用すると、重大な傷害が発生しかねないので、それによる損傷は、機器メーカーの責任範囲外です。
- 電源アダプターは実際の外観に準じてください。
- Wi-Fi アンテナの数: 製品構成が異なれば、実際のアンテナ数も異なります。



## 5 設置

### 5.1 設置の要件

#### 安装环境要求

1. 可燃性、爆発性、腐食性などの環境には設置できません。
2. 設置スペースは、機器の換気および放熱要件、そして操作スペース要件を満たしている必要があります。
3. EzLogger は屋内の設置に適用され、設置環境の温度、湿度は適切な範囲内である必要があります。
4. 設置場所は子どもが届けない場所にしてください。
5. EzLogger のメンテナンス、と配線作業が容易に出来るよう、本体に張付けるラベルや表示灯を確認しパワコンを適切な高さのところに設置してください。
6. 電磁干渉を避けるため、強い磁場環境から離してください。

#### 設置場所の構造に関する要件

- パワコンの設置場所の取付構造には、耐火性が求められます。パワコンを可燃性の建材に設置しないでください。
- 設置場所の強度がパワコンの重量負荷に耐えられること。



## 設置工具の準備

EzLogger を設置する際には、以下の工具を使用することをお勧めします。必要に応じて、工具の増減が可能です。



## 5.2 EzLogger の設置

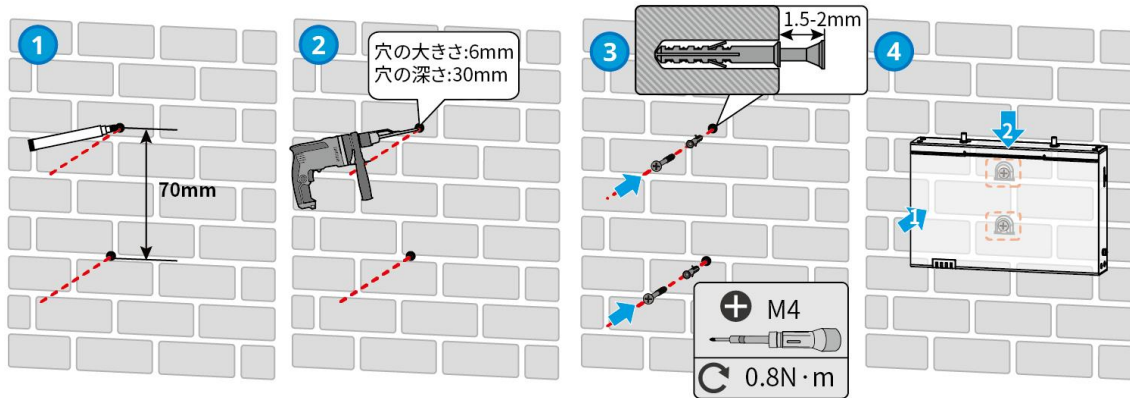
### 5.2.1 壁掛けによる設置

#### 注記

- 穴あけの際は、危険を回避するため、壁内の水道管、配線配管などを避けて穴あけ位置を決めてください。
- 穴あけ作業時は、粉塵が気道に吸い込まれたり、目に入ったりしないように、保護メガネや防塵マスクを着用してください。
- EzLogger を壁に掛ける時、配線メンテナンスが容易にできるよう、配線部が下向きにすること。
- **ステップ 1**：マーカーを使用して穴の位置に印を付け、穴あけの位置がブラケットのネジ穴と一致することを確認してください。
- **ステップ 2**：リルビット直径 6mm の電動ドリルを使用して穴を開け、穴の深さが約 30mm で

あることを確認します。

- **ステップ3**：拡張ネジを壁の穴に打ち込んで、1.5-2mmの長さを露出します。
- **ステップ4**：EzLoggerを拡張ネジに掛けて引き下げて、安定して取り付けられていることを確認します。



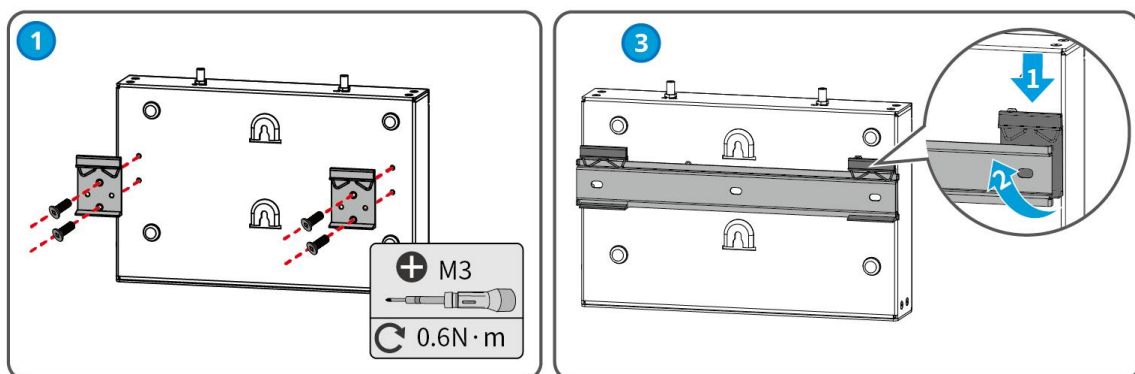
## 5.2.2 ガイドレール取り付けによる設置

### 注意

- ガイドレールで取り付ける場合は、EzLoggerにガイドレール取付金具を付ける必要があります。
- EzLoggerを設置する時、M4 ボルトをお客様自分でご用意し、壁や架台など耐荷重が保証できる場所に取り付けてください。

**ステップ1**：ガイドレール固定金具をM3ネジでEzLoggerに締めます。

**ステップ2**：EzLoggerをガイドレールに固定します。



### 5.2.3 机上に設置

EzLogger が机上に設置することが可能です。

#### 注記

- 滑りや損傷を避けるため、EzLogger は水平な机に設置してください。
- 誤って触れて信号が中断されないよう、EzLogger は手の届きにくい場所に設置してください。

## 6 電気配線

### 6.1 安全に関する注意事項

#### 危険

- 電気配線を行う前に、パソコンの DC スイッチと AC スイッチを切って、装置の電源がオフになっていることを確認してください。感電などの危険があるので、通電したままの操作は厳禁です。
- 電気接続中、すべての操作、使われたケーブル、および部品の仕様は、現地の法律および規制に準拠すること。
- ケーブルに張力がかかりすぎると配線不良の原因となるので、ある程度余裕の長さでパソコンと接続してください。

#### 注記

- 電気配線を行う際は、必要に応じて安全靴、保護手袋、絶縁手袋などの保護具を着用してください。
- 電気接続関連の作業は有資格者のみが行うこと。
- 本書に記載されているケーブルの色は参考用です。実際に使われるケーブル仕様は、現地の規制に準拠する必要があります。

No,	ケーブル類別	マーク	ケーブル仕様
1	保護接地線		<ul style="list-style-type: none"><li>● 屋外用銅線ケーブル</li><li>● 導体断面積：2.5mm<sup>2</sup> - 4mm<sup>2</sup> (14AWG - 12AWG)</li></ul>
2	直流出力ケーブル (12V/24V)	DC OUT / 12V GND	<ul style="list-style-type: none"><li>● 屋外用銅線ケーブル</li><li>● 導体断面積：0.2mm<sup>2</sup> - 1.5mm<sup>2</sup> (24AWG - 16AWG)</li></ul>
3	DO 信号ケー	DO 1-2	



	ブル		
4	RS485 通信ケーブル	RS485 1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現地の規格に準拠する屋外用シールド付きツイストペアケーブル</li> <li>● 導体断面積：0.2mm<sup>2</sup> - 1.5mm<sup>2</sup> (24AWG - 16AWG)</li> </ul>
5	DI 信号ケーブル	DI 1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外用銅線ケーブル</li> <li>● 導体断面積：0.2mm<sup>2</sup> - 1.5mm<sup>2</sup> (24AWG - 16AWG)</li> </ul>
6	AI 信号ケーブル	AI_0-12V AI_0-20mA AI_4-20mA	
7	PT 信号ケーブル	PT100/PT1000	
8	LAN ケーブル	ETH 1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CAT 5E 以上の屋外用シールド付きネットワーク ケーブル</li> <li>● シールド付き LAN コネクタ</li> </ul>

## 6.2 保護接地線の接続

### 警告

- 製品を操作する前に、すべての製品が確実に接地されることを確認してください。
- 端子の耐食性を向上させるため、保護アース線を接続・設置した後、アース端子の外側にシリコン  
または塗料を塗布して保護することを勧めます。
- 保護接地線、接地用 OT 端子、固定ネジはお客様にてご用意ください。推奨スペック：
  - 保護アース線：導体断面積が 2.5 ~ 4 mm<sup>2</sup> または 14AWG ~ 12AWG の屋外銅線
  - OT 端子：M4

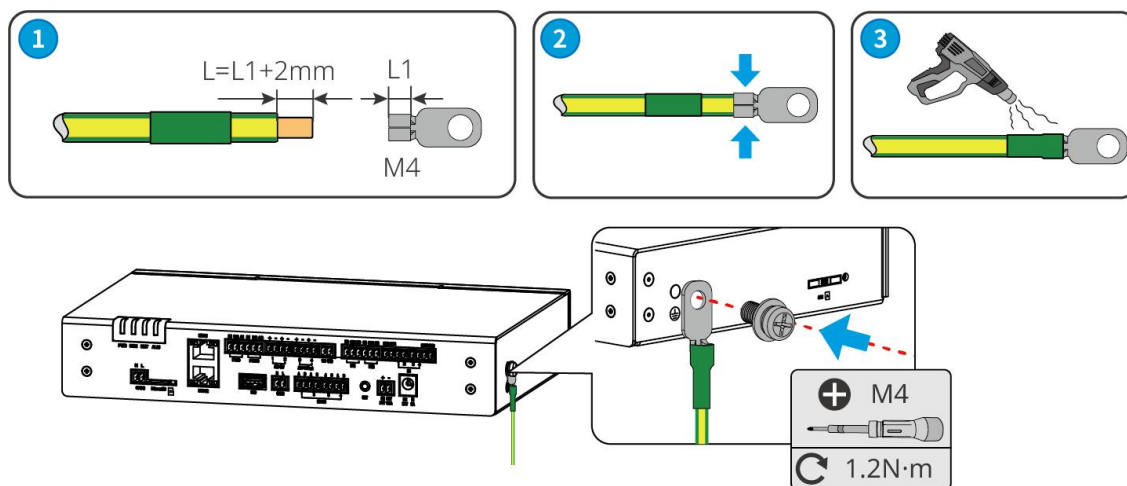
○ 固定ネジ：M4

ステップ 1: ケーブルの皮をむき、ケーブル芯の露出部を適切な長さにします。

ステップ 2: ケーブルに OT 端子を圧着します。

ステップ 3: 絶縁熱収縮チューブを使用して、ケーブルと OT 端子の間の接続部を包みます。

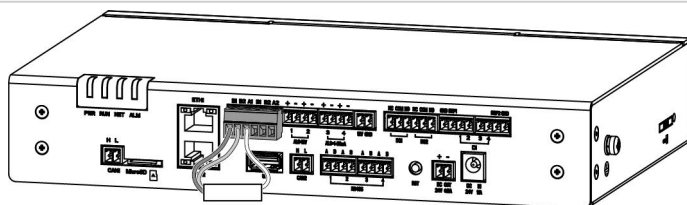
ステップ 4: M4 ネジを使用して、保護アース線を EzLogger の接地端子に固定します。



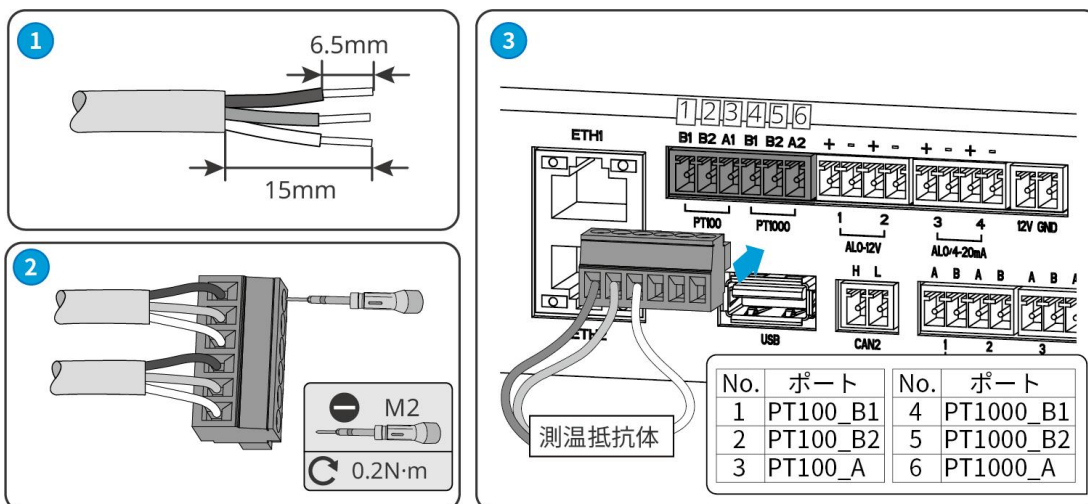
### 6.3 PT 信号ケーブルの接続

#### 注記

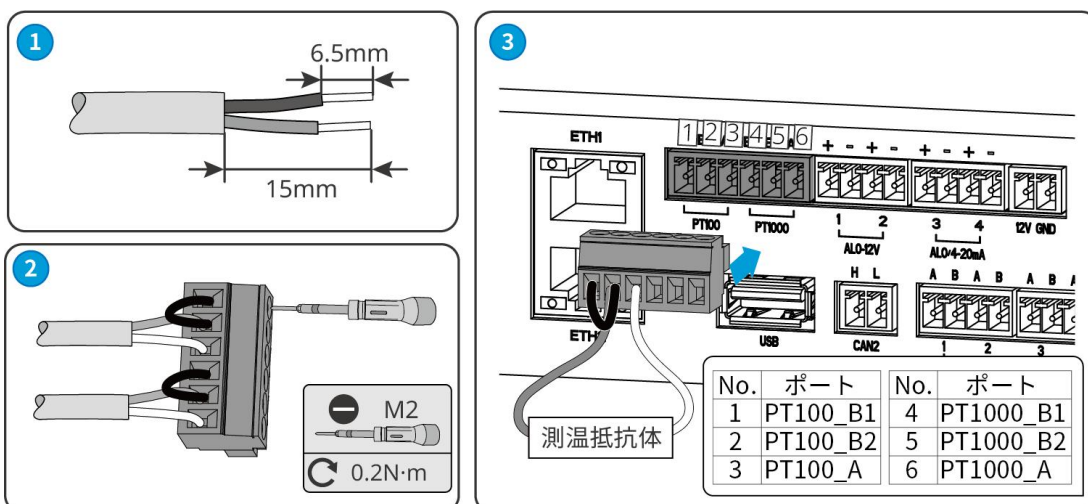
- PT 通信ポートは 2 線式または 3 線式の測温抵抗体 PT100 または PT1000 と接続できます。
- 2 線式の測温抵抗体 PT100/PT1000 を接続する場合は、B1 ポートと B2 ポートをショートしてください。



3 線式 PT100/PT1000



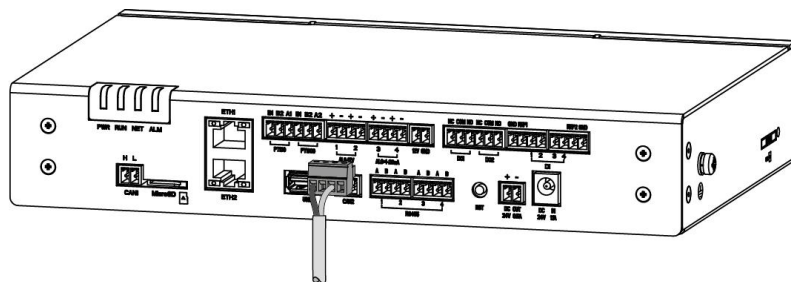
## 2 線式 PT100/PT1000



## 6.4 AI 通信ケーブルの接続

### 注記

- AI 通信ポートで電圧または電流アナログ信号の入力が可能です。
- ワンボタンシャットダウン機能を実現したい場合は、保護装置を EzLogger の AI1+ または AI2+ ポートと 12V 電源出力ポートに接続してください。



**1**

6.5mm  
15mm

**3**

**2**

M2

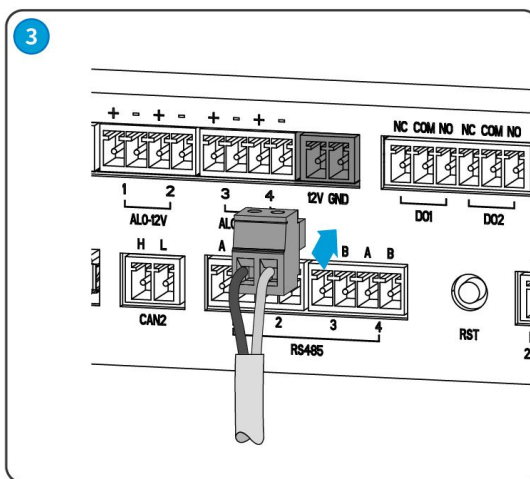
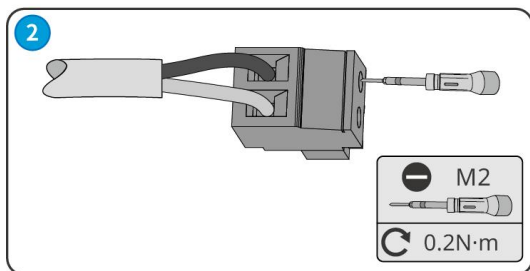
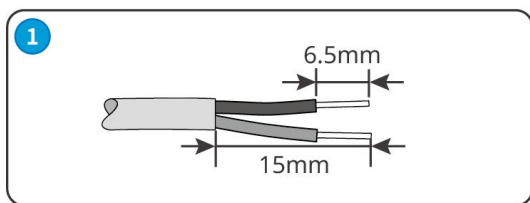
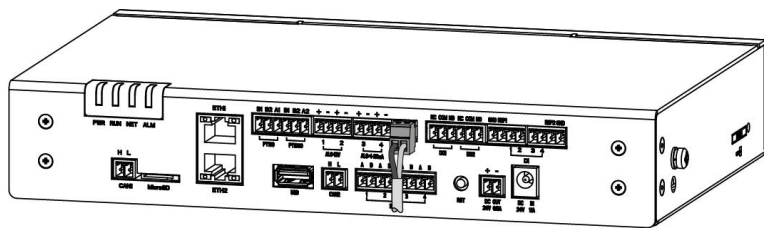
0.2N·m

NO.	ポート
1	0-12V電圧モードアナログ信号に接続するため
2	
3	
4	
5	予備、0-20mAまたは4-20mAの電流アナログ信号に接続するため
6	
7	
8	

## 6.5 DC 12V の出力ケーブルの接続

### 注記

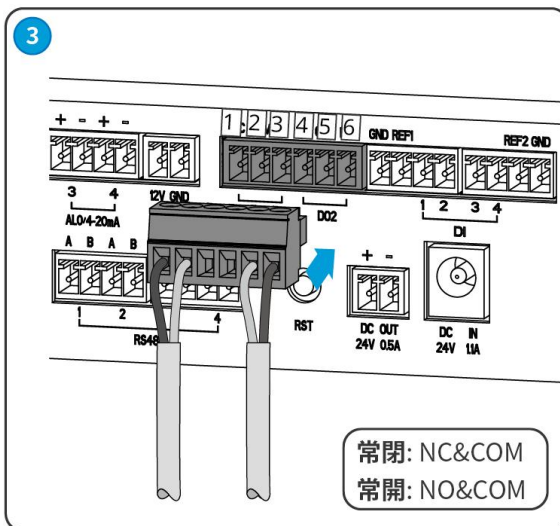
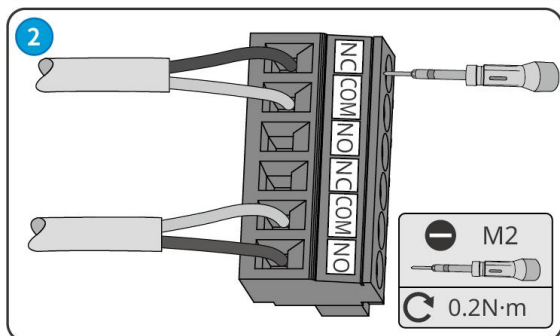
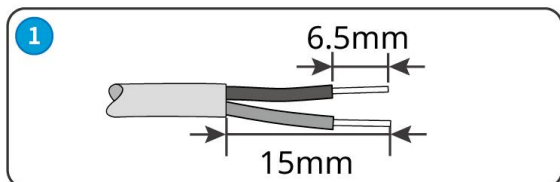
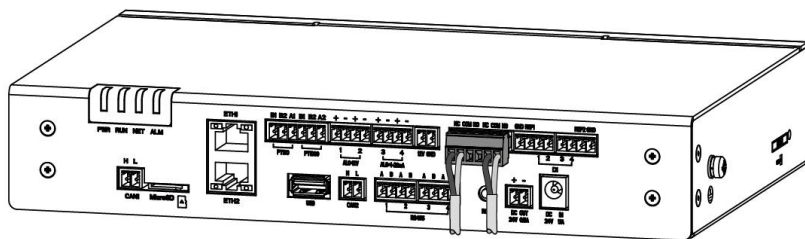
ワンボタンシャットダウン機能の実現のみに使います。



## 6.6 DO 通信ケーブルの接続

### 注記

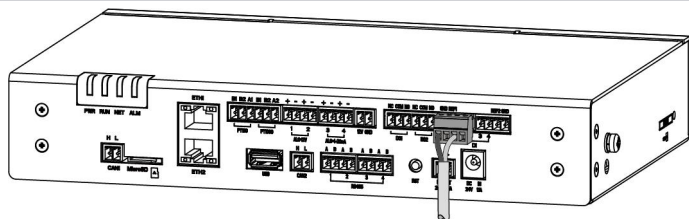
- DO 通信ポートはドライ接点信号出力に対応しています。
- DO ポートは最大信号電圧 30V/1A の信号に対応し、NC/COM は常閉接(B 接点)、NO/COM は常開接点(A 接点)です。
- 伝送距離は 10m 以下にしてください。



## 6.7 DI 信号ケーブルの接続

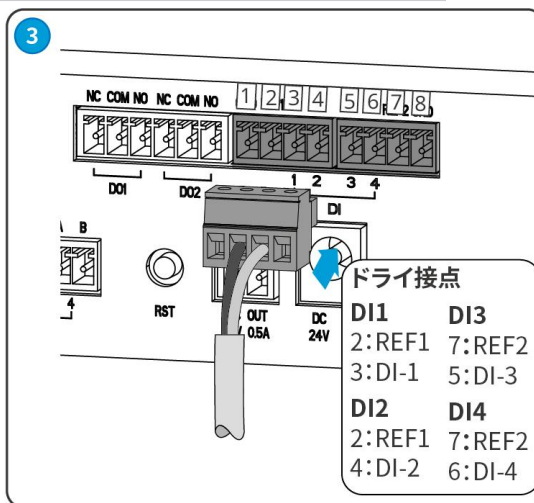
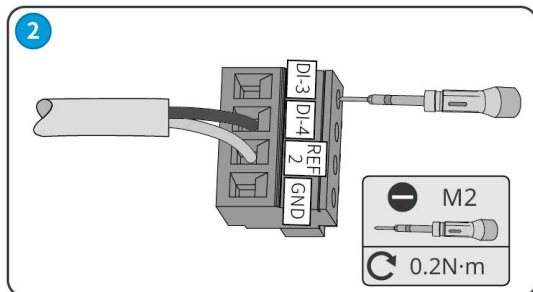
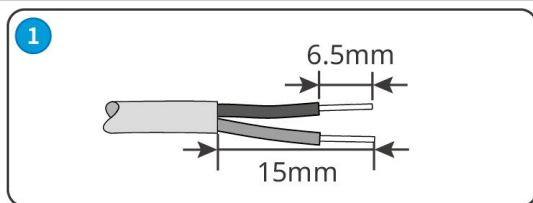
### 注記

- OVGR (地絡過電圧継電器)/RPR (逆電力継電器) 信号制御機能搭載し、日本を代表とする色々な国や地域の応用シーンに対応。
- ウェット接点信号とドライ接点信号両方の入力に対応。ウェット接点は 0 ~ 12V 電圧での入力が可能で、その中 8 ~ 12V は高レベルです。
- 伝送距離は 10m 以下にしてください。



ドライ接点

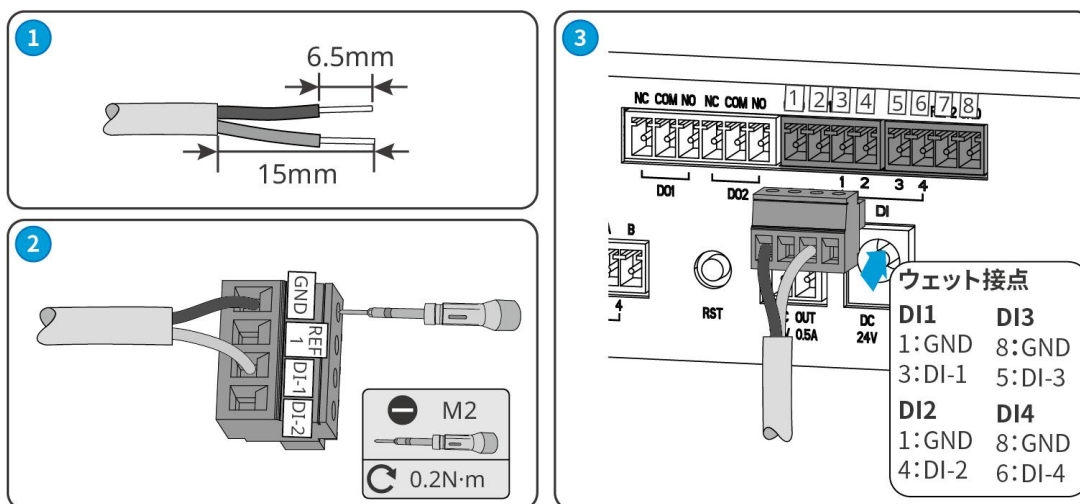
ポート	マーク		ポート定義
DI1	-	REF1	REF1
	DI	1	DI1
DI2	-	REF1	REF1
	DI	2	DI2
DI3	-	REF2	REF2
	DI	3	DI3
DI4	-	REF2	REF2
	DI	4	DI4



## ウェット接点

ポート	マーク		ポート定義
DI1	-	GND	GND
	DI	1	DI1
DI2	-	GND	GND
	DI	2	DI2

DI3	-	GND	GND
	DI	3	DI3
DI4	-	GND	GND
	DI	4	DI4



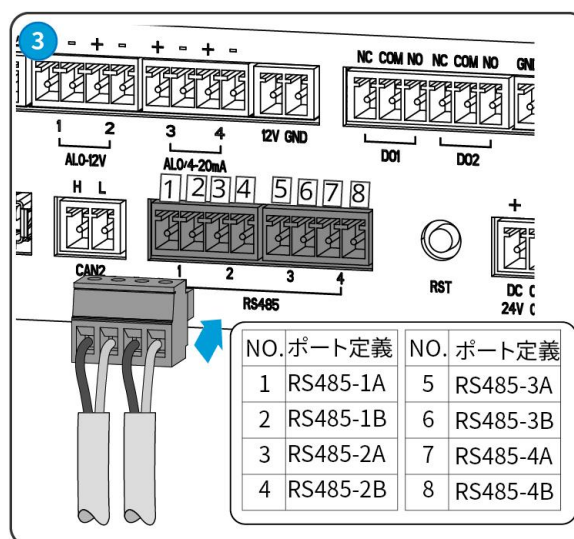
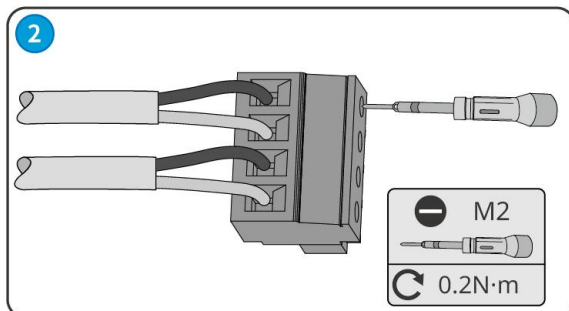
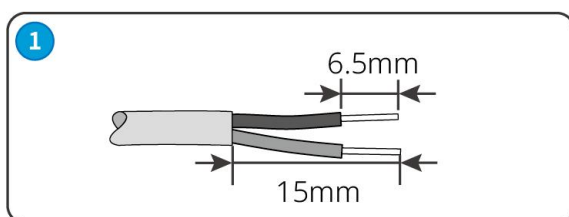
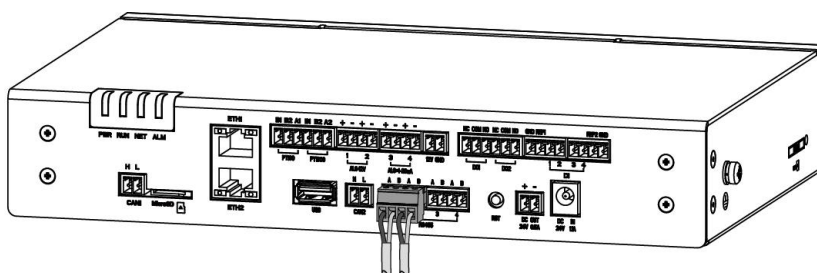
## 6.8 RS485 通信ケーブルの接続

### 注記

- RS485 通信ポートを介してパソコン、スマートメーター、環境監視装置などの RS485 通信可能なデバイスと接続できます。
- 配線の際は、EzLogger の RS485A ポートが他の通信機器の RS485A 信号と接続し、RS485B ポートが他の通信機器の RS485B 信号に接続することを確認してください。
- 屋外用シールド付きツイストペアケーブルのシールドが接地されていることを確認してください。



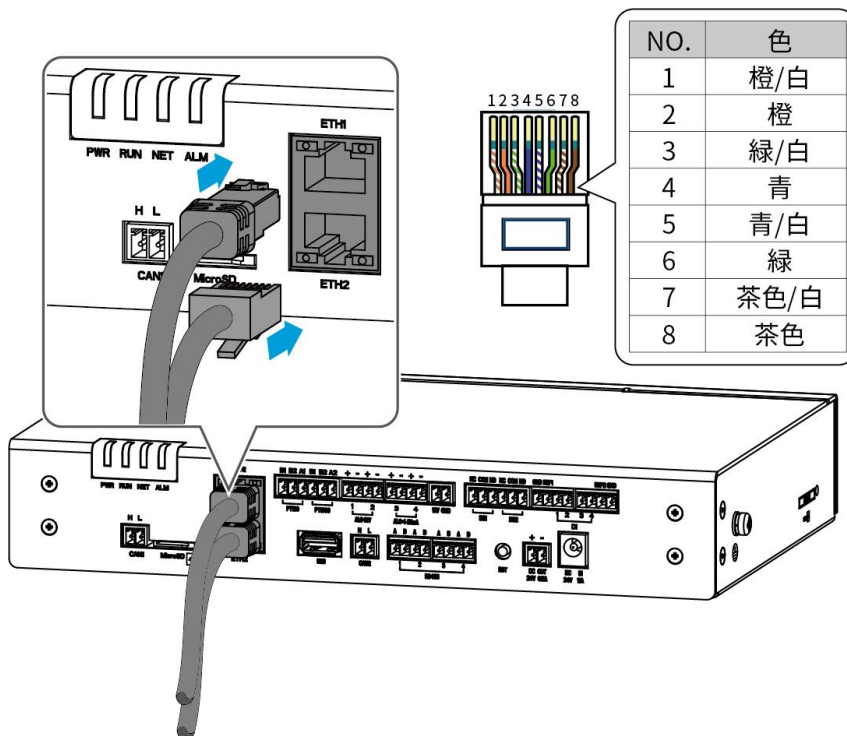
No.	機能	マーク	ポートの定義		
1	パワコン、スマートメーター、環境監視装置などの RS485 通信可能なデバイスと接続します	RS485	1	A	RS485-1A
2				B	RS485-1B
3			2	A	RS485-2A
4				B	RS485-2B
5			3	A	RS485-3A
6				B	RS485-3B
7			4	A	RS485-4A
8				B	RS485-4B



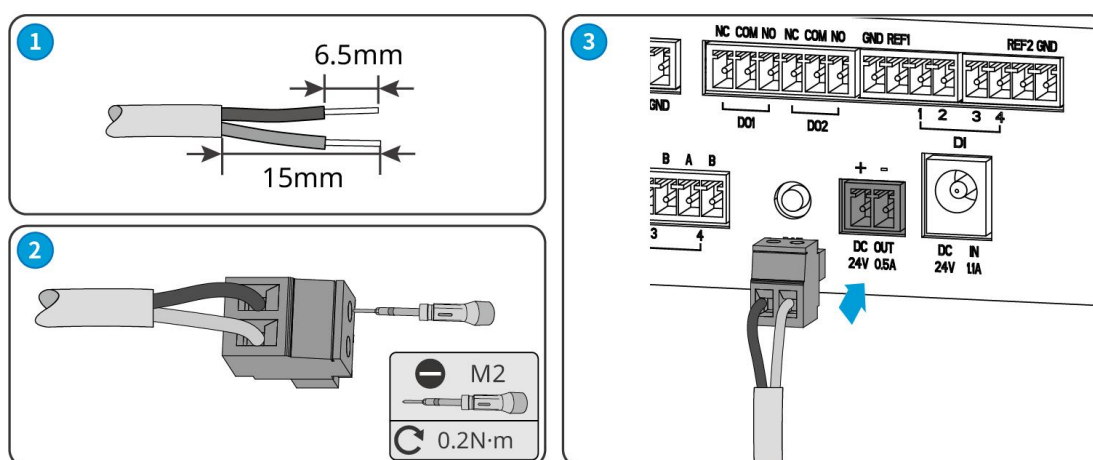
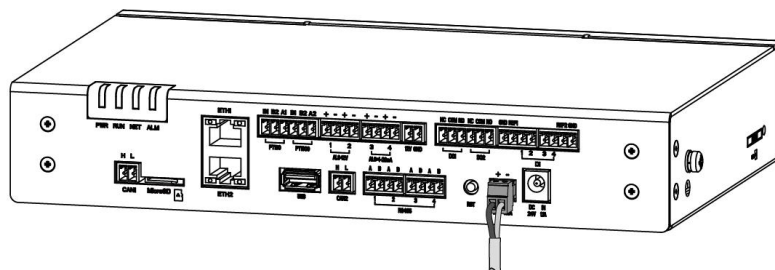
## 6.9 ネットワーク通信線接続

### 注意

- 推奨ケーブル仕様: CAT 5E 同等及びその上の屋外シールド付きネットワークケーブルと RJ45 シールド付きコネクタ。
- ETH1 は、外部通信するために使用されます。このポートは工場出荷時に動的 IP になっており、ルーター、スイッチングハブなどのデバイスと接続できます。
- ETH2 は外部通信また EzLogger の WEBUI に接続するために使われています。出荷時、ポートが動的 IP モードであり、固定仮想 IP172.18.0.12 が用意されています。ルーター、ネットワークスイッチハブなどのデバイスに接続でき、PC に接続して WEBUI にログインし各種パラメータの設定もできます。
- ETH ポートの IP パラメータを変更する場合、「8.4.1 ポートパラメータの設定」を参照してください。
- LAN ケーブルを使用して EzLogger を PC に接続する場合、PC に LAN ポートがなければ、必要なアダプターをご用意ください。



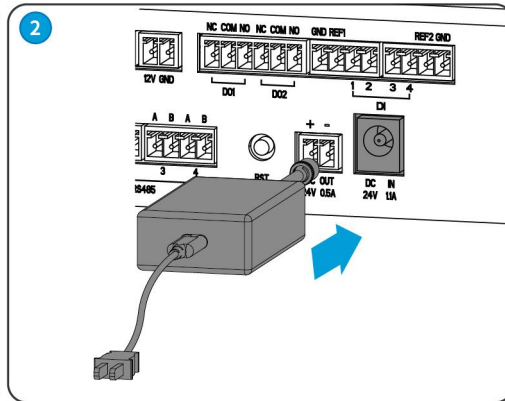
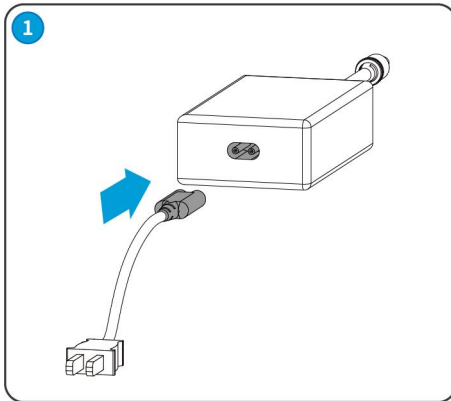
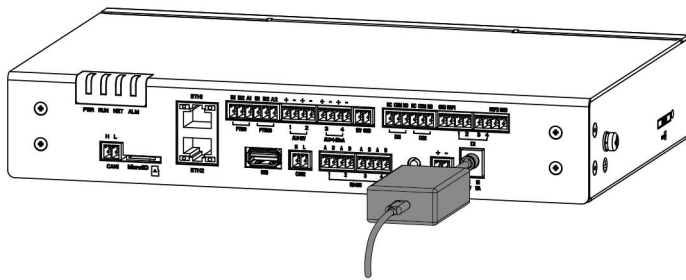
## 6.10 24V DC 電源出力ケーブルの接続



## 6.11 電源ケーブルの接続

### 注記

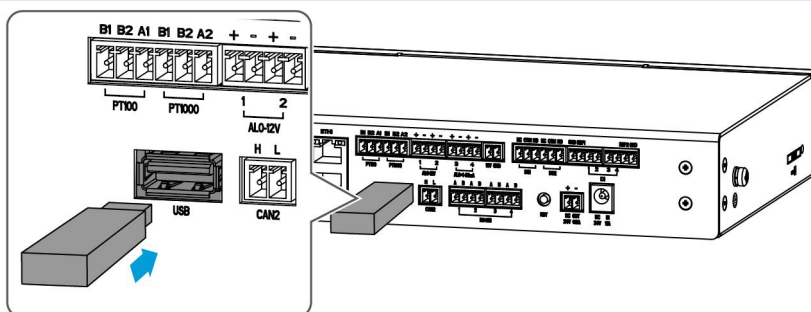
- 同梱された電源アダプタを DC 入力ポートに接続して、EzLogger に給電してください。
- アダプターの外観は実際の製品に準じます。
- 電源アダプターの仕様: 入力は AC 100V ~ 240V、周波数は 50Hz/60Hz、出力は DC 24V、1.5A。



## 6.12 USB の接続

### 注記

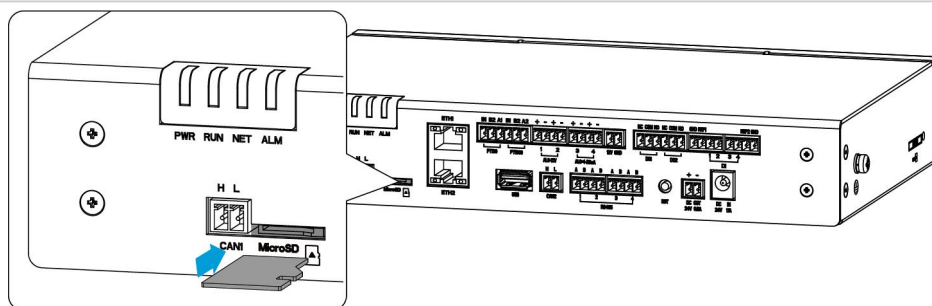
- USB ポートを USB メモリと接続して、EzLogger ソフトウェアのアップデートができます。アップデート用パッケージの取得について、代理店また施工店にお問い合わせください。
- FAT32 フォーマットの USB メモリをご用意ください。USB メモリの容量は 32G 以下にしてください。



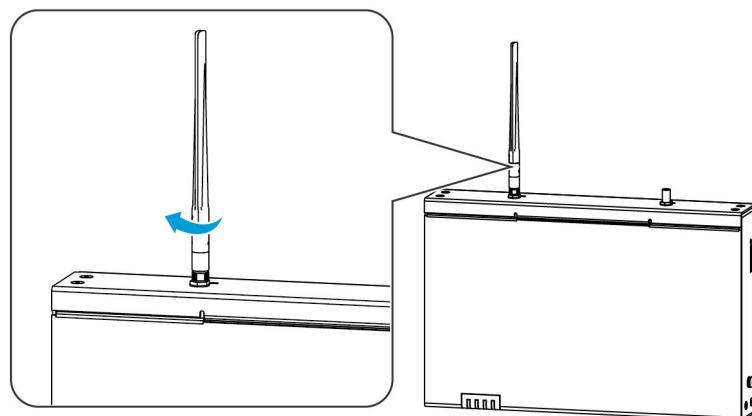
## 6.13 MicroSD の使用

### 注記

通信中断時のデータを通信再開時に正常に伝送できるように、MicroSD カードを装備し、通信中断時のデータを保存してください。



## 6.14 アンテナの取付

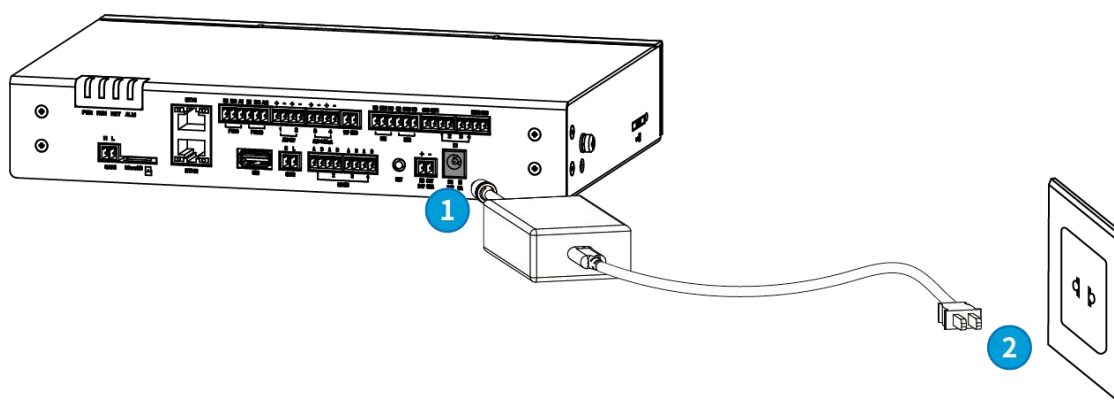


## 7 設備試運転

### 7.1 電源投入前の確認

No,	検査項目
1	EzLogger がしっかりと設置されており、設置場所に操作とメンテナンス用のスペースが確保され、環境も清潔であること。
2	保護接地線、DC 入力ケーブル、通信ケーブルが正しくしっかりと接続されていること
3	ケーブル結束は配線要件に準拠しており、きれいに整理され、ケーブルに破損がないこと。
4	入力信号と投入電源の仕様は EzLogger の設置要件に準拠すること。

### 7.2 電源投入









ステップ 1：電源アダプターを EzLogger の電源ポートと接続します。

ステップ 2：電源アダプターを電源コンセントに繋ぎ、コンセント側のブレーカを ON にします。

## 8 システムの試験調整

### 8.1 表示灯とボタンの説明

#### 表示灯の説明

表示灯	状態	説明
PWR		点灯： EzLogger の電源が入っています
		消灯： EzLogger の電源が入っていないまたは電源異常
RUN		緑点灯/消灯： EzLogger の運転が異常です
		
		0.5s ON/0.1s OFF, 2 回： EzLogger が正常運転中
NET		緑点灯： EzLogger とサーバーの通信は正常です
		0.5s ON/0.5s OFF, 2 回： EzLogger がルーターと繋がっていません
		0.5s ON/0.5s OFF, 4 回： EzLogger がルーターと繋がりましたが、サーバーと接続できません
ALM		赤点灯： 全パワコンが故障しています
		0.5s ON/0.5s OFF, 4 回： EzLogger がアップデート中
		赤消灯： EzLogger と繋がっている EzLogger の中に少なくとも一台の PCS が正常運転しています

#### R S T ボタンの説明

RST ボタン	機能説明
1-3S 短押し	EzLogger をリセットします
6-20S 長押し	EzLogger を工場出荷状態に初期化します

## 8.2 WEB 調整システムを通じて

### 8.2.1 WEBUI の紹介

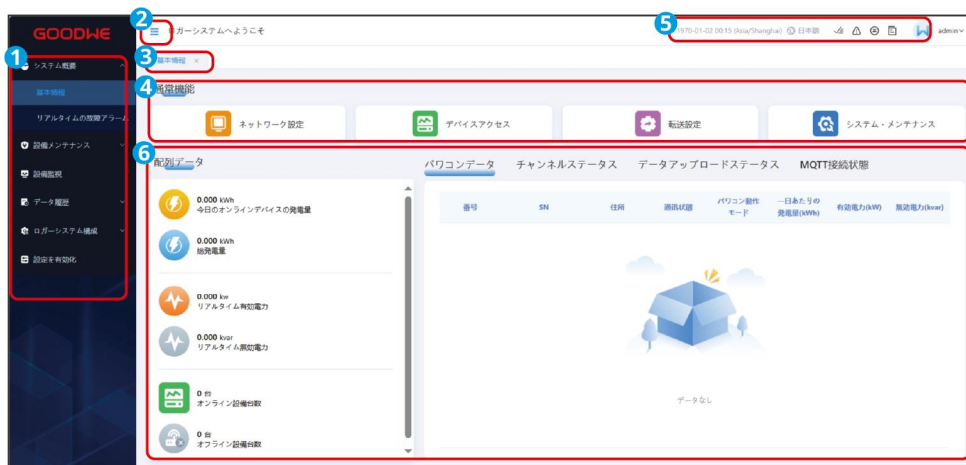
EzLogger は、WEBUI を介して関連パラメータの設定を行う以外、EzLogger の動作情報とエラーメッセージ、およびシステム状態をリアルタイムに把握できます。

#### 警告

- 下に掲載した写真はバージョン V3.4.21 の WEBUI から切り取ったものです。あくまで参考用で、使用時に実際の画面に準じてください。
- パラメータ名、レンジ及びデフォルト値は後で変更または調整する可能性があります。、実際の表示値に準じてくださいすることが。
- パワコンにリセット、シャットダウン、またはアップグレードの指令を発する時、パワコンが系統連系失敗また正常に発電しないことにつながります。
- パワコンの系統パラメータ、保護パラメータ、特性パラメータ、電力調整パラメータは有資格者が設定します。系統パラメータ、保護パラメータ、および特性パラメータの設定が間違ると、パワコンが系統連系失敗する可能性があります。電力調整パラメータの設定が間違ると、パワコンが系統側の要件通りに系統に連系できなく、発電量まで影響を与える可能性があります。
- グリッド関連パラメータは有資格者が設定します。設定が間違ると、パワコンが系統側の要件通り系統に連系できなく、発電量まで影響を与える可能性があります。



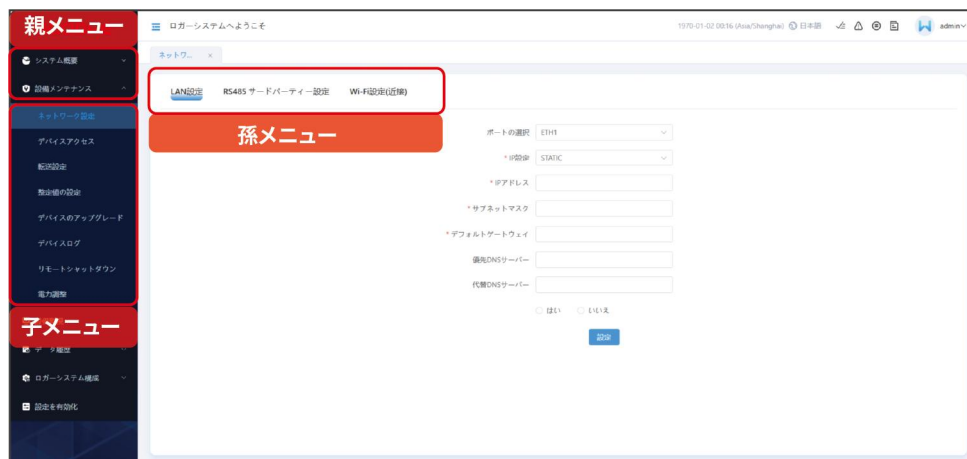
## 画面の紹介



No.	エリア	説明
1	メニュー	WEBUI のメニューエリア。親メニューを選択したら、子メニューが表示できます。一部の親メニューには子メニューがありません。
2	メニューリスト ボタン	メニュー リスト ボタンをクリックすると、メニュー リストを展開または折りたたむことができます。
3	ワークシート	メニューリストを選択したら、該当の項目内容が表示します。
4	一般機能	よく使う設定機能を表示し、便利に操作できます。メニューリストから設定可能。
5	システム状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>● システム時刻の表示</li> <li>● システム言語を切り替えます。</li> <li>● アラーム情報を表示し、クリックすると、発生中のアラームが確認できます。</li> <li>● 製品のバージョン情報を表示します。</li> <li>● 操作ガイドを確認します。</li> <li>● アカウントの情報を表示し、クリックしてアカウントからログアウトします。</li> </ul>

6	情報データ	各メニューの下に、該当機能またはパラメータ設定、数値を表示します。
---	-------	-----------------------------------

## メニュー



親メニュー	子メニュー	孫メニュー	説明
システム概要	基本情報	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ポート設定、設備追加、サービス設定転送、システムメンテナンスなどの常用機能。</li> <li>● 基本情報の確認: 今日のオンライン設備の発電量、累積発電量、リアルタイムの有効電力、リアルタイムの無効電力、オンライン PCS の数、オフライン PCS の数など。</li> </ul>
	リアルタイム故障警告	-	システムアラームのトータル数、アラーム名、パワコン SN 番号と発生時刻を表示します。手動更新ボタンをクリックすると、最新のアラームリストが表示できます。
設備メンテナ	ネットワーク	LAN 設定	LAN 通信パラメータを設定します。

ンス	設定	RS485 サード パーティー設 定	RS485 パラメータを設定します。 RS485 通信により第三者の設備と接続 することが可能です。対応可能な RS485 ボー レート: 300、1200、2400、 4800、9600、19200 になります。
		Wi-Fi 設定 (近 接)	EzLogger の Wi-Fi 名称とパスワードを 設定します。
	デバイス接続	-	逆変器、電力計などのデバイスを自動 検索または手動追加の方法で追加しま す。
	情報転送	IEC104	IEC パラメータを設定します
		Modbus-TCP	Modbus-TCP のパラメータを設定しま す。
		IEEE2030.5	IEEE2030.5 パラメータを設定します。
		出力制御	出力制御のパラメータを設定します。
	パラメータ設 定	EzLogger	EzLogger ポートのパラメータ、稼働ロ グのパラメータ、および所属 PCS の容 量を設定できます。
		パワコン	パワコンの系統連系パラメータ、保護 パラメータ、特性パラメータ、電力調 整パラメータを設定できます。
		箱式変電所	サブ変電所のリモート設定のパラメー タ

		メーター	CT 変流比やメーターモードなど設定 できます。
	設備のアップ デート	EzLogger	EzLogger をアップデートします。
		パワコン	パワコンをアップデートします。
設備メンテナ ンス	設備ログ	-	設備の稼働ログ、操作ログ、メンテナ ンスログを表示します。
	リモートシャ ットダウン	OVGR&RPR	OVGR&RPR、リモートシャットダウン のパラメータを設定します
		ワンクリック シャットダウ	ワンクリックシャットダウのパラメー タを設定します。
	出力調整	出力制限	系統連系時の出力抑制パラメータを設 定します。
		DRED	DRM パラメータを設定します。
		RCR	RCR パラメータを設定します。
		通信異常設定	
			DER_AVM
設備モニタリ ング	-	パワコン	パワコンのパラメータを確認できます
	-	環境監視装置	環境監視装置のパラメータを確認でき ます。
	-	メーター	メーターのパラメータを確認できま す。

	-	サブ変電所	サブ変電所のパラメータを確認できます。
	-	IEC104	IEC104 のパラメータを確認できます。
過去のデータ	過去の異常とアラーム	-	過去の故障と警告を確認できます
EzLogger 構成	システムのメンテナンス	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ収集を再開する</li> <li>● リセット</li> <li>● すべての設定ファイルをインポートする</li> <li>● 完全な設定ファイルをエクスポートする</li> </ul>
	時刻同期	-	システム時刻同期や手動時刻同期などの時刻同期方法を設定します。
	セキュリティ	-	パスワード変更などのセキュリティに関するパラメータを設定できます。
	バージョン	-	SN、メインプログラムバージョン、ファームウェアバージョン、WEB バージョンなどの EzLogger のバージョン情報を確認できます
設定を有効に	-	-	設定パラメータを保存します。パラメータを調整した後、本ボタンをクリックして設定を有効になります。

## 8.2.2 WEBUI のログイン

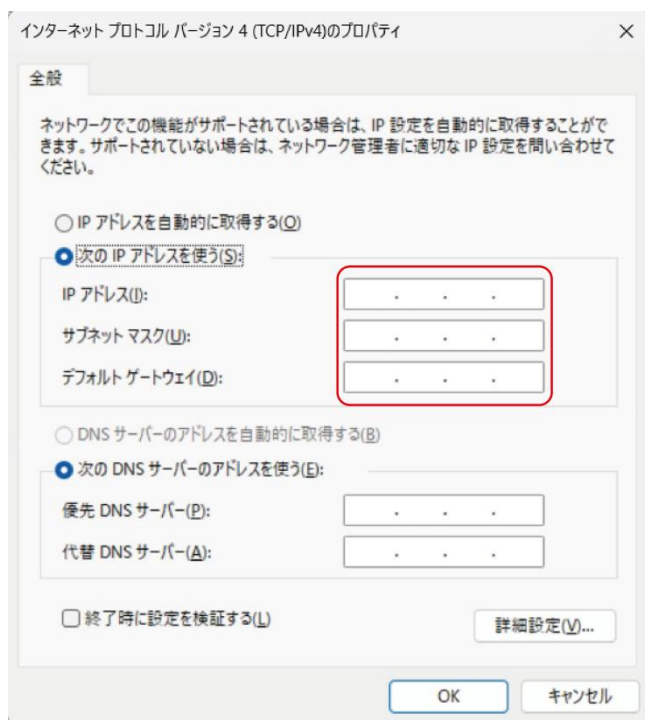
### 注記

- 太陽光発電システム内のすべての機器が正しく設置され、電源が入っている状態を確認してください。
- WEBUI のログインに必要なユーザー名とパスワードは、アフターサービスにお問い合わせください。
- WEBUI にログインする前に、設備が次の要件を満たしていることを確認してください。Windows 7 以降の OS に対応しています。
- ブラウザ：Chrome52、Firefox58 以降を推奨します。
- ネットワーク ケーブルを使用して、PC の LAN ポートをデバイスの ETH ポートに接続します。
- WEBUI の設定が完了したら、ETH ポートからネットワーク ケーブルを抜いてください。

### デフォルトの IP を使用して WEBUI にログイン

**ステップ 1:** ネットワーク ケーブルで、PC を EzLogger3000C の ETH2 ポートに繋がります。

**ステップ 2:** コンピュータのシステムで「ネットワークとインターネット」>「アダプターの設定を変更」を選択します。表示されるネットワーク接続のダイアログボックスで、右クリックして「プロパティ」を選択し、コンピュータとデータ収集器の IP アドレスを同じサブネットに設定します。



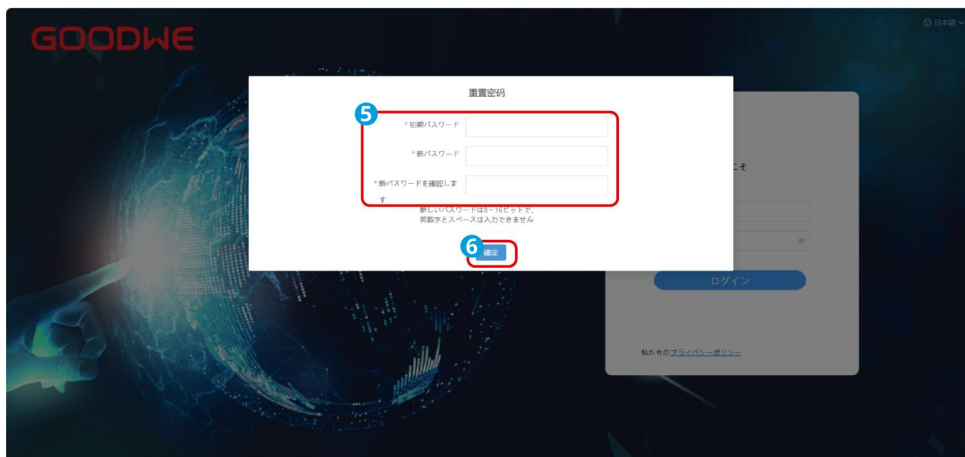
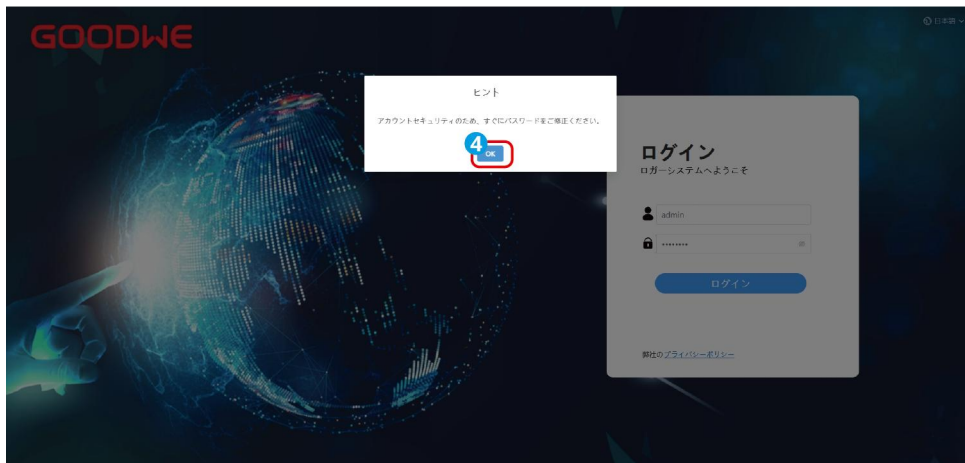
No.	パラメータ	デフォルト値	設置例
1	IP アドレス	172.18.0.12	172.18.0.22
2	サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	172.18.0.1	172.18.0.1

**ステップ 3:** ブラウザのアドレスバーに「https://172.18.0.12:443」を入力して、ログイン画面に入ります。

**ステップ 4:** まず言語を選択し、初期アカウント名とパスワードで WEBUI にログインします。

### 注記

- 初回ログインは初期パスワードを使用し、できるだけ早くパスワードを変更してください。アカウントのセキュリティを確保するために、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。
- パスワードを忘れた場合は、デバイスの RST ボタンを長押しして初期パスワードを復元できます。





## 動的 IP で WEBUI を登録する

ステップ 1: LAN ケーブルで EzLogger3000C と PC を同じルーターにつなぎます。

ステップ 2: ルーター管理画面を通じて、ルーターによって EzLogger3000C に割り当てられた IP を確認します。

ステップ 3: ブラウザのアドレスバーに「https://172.18.0.12:443」を入力して、ログイン画面に入ります。

## Wi-Fi を使って WEBUI にアクセスする

ステップ 1: PC を EzLogger 3000C に接続する場合デフォルトの Wi-Fi 名: Log-\*\*\* (\*\*\*) はデバイスのシリアル番号)。Wi-Fi のデフォルトのパスワード: 12345678。

ステップ 2: ブラウザのアドレスバーに「https://172.18.0.12:443」を入力して、ログイン画面に入ります。

ステップ 3: 実際の状況に応じて言語を選択します。初期アカウント名とパスワードを使用して WEBUI にログインします。

## 8.2.3 ネットワークパラメータの設定

### 注意

WEBUI の画面には、実際の状況によってデフォルトのネットワークパラメータ設定が表示します。必要であれば変更できます。

### LAN の設定

### 注意

- LAN パラメータを設定する前に、EzLogger3000C の ETH1/ETH2 ポートに LAN ケーブルが挿されていることを確認してください。
- LAN 設定のデフォルトの取得方法は DHCP です。ルーター経由 LAN でクラウドにデータをアップロードするならデフォルト設定のままで大丈夫です。
- スイッチングハブに接続して LAN でクラウドにデータをアップロードするか、第三者への転送パラメ

ータを設定する必要がある場合は、データをアップロードするまた転送パラメータを設定する前に、LANを静的 IP に設定してください。



パラメータ	説明
ポート選択	実際接続したポート。ETH1, ETH2 対応可能。
IP 設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● STATIC 方式を選択すると、関連ネットワーク パラメータは固定なものであり、実際の状況に応じて手動で設定する必要があります。</li> <li>● DHCP 方式を選択すると、自動的に IP アドレスが取得され、登録が済みます。</li> </ul>
IP アドレス	EzLogger3000C の IP を変更するためです。発電所の計画に応じて、ルーターと同じサブネットワークに設定します。IP アドレスを変えたら、新しい IP アドレスを使用して再度ログインする必要があります。
サブネットマスク	EzLogger3000C のサブネットマスクを変更します。パワコンが繋がったルーターの実際のサブネットマスクに合わせ設定してください。
デフォルトゲートウェイ	EzLogger3000C のデフォルトゲートウェイを変更します。パワコンが繋がったルーターの実際のデフォルトゲートウェイに合わせ設定してください。
優先 DNS サーバ	WAN と繋がる時(例え GOODWE のクラウド、サーバーアドレスがドメイン名)、LAN ルーターの IP アドレスに設定してください。
代替 DNS サーバ	通常の場合は、このパラメータの設定は省略できます。 優先 DNS サーバがドメイン名を解析できない場合は、代替として当 DNS サーバが使用されます。

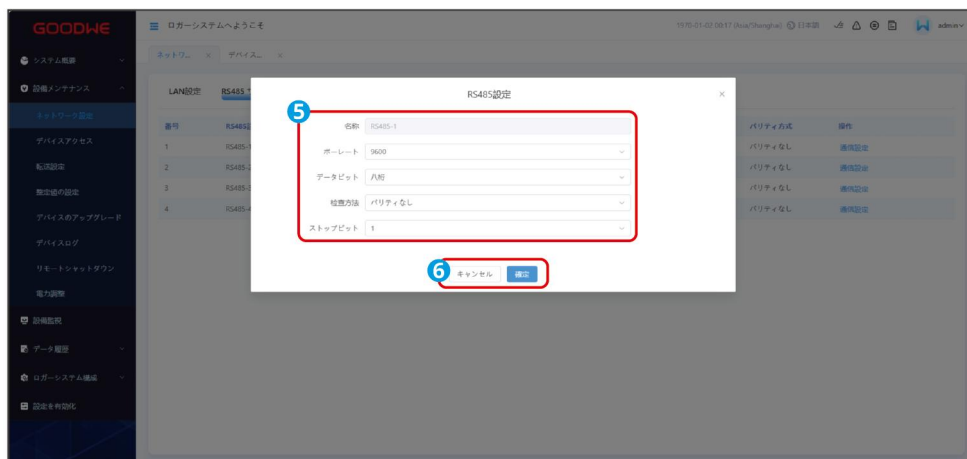
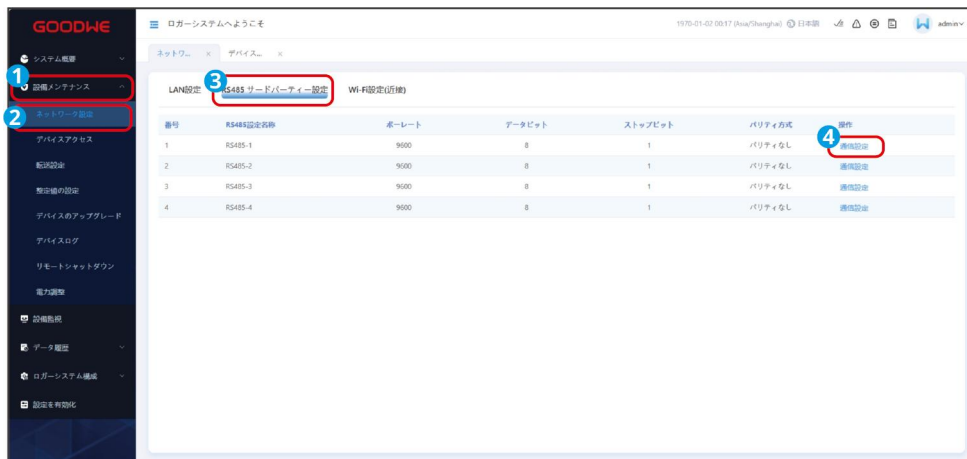
ローカルエリアネットワーク (LAN) /インターネット

- サーバーに接続してデータを GoodWe クラウドに転送する必要がある場合は、インターネットを選択してください。
- 転送パラメータを設定して、第三者の監視プラットフォームなどに接続する必要がある場合は、ローカルエリアネットワーク (LAN) を選択してください。

## RS485 の配置

### 注記

EzLogger がキュービクル、環境監視装置などの第三者機器に接続する場合、「RS485 第三者設定」を設定する必要があります。



### パラメータ

### 説明

名称

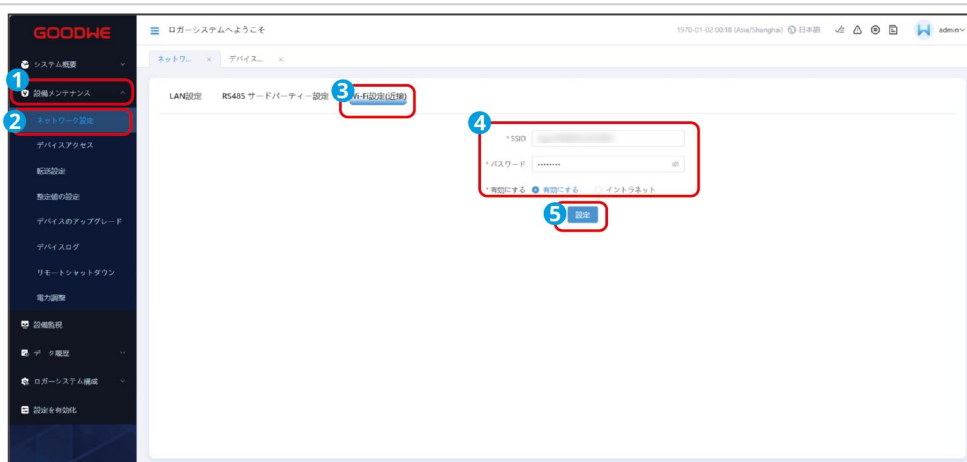
EzLogger が実際に接続している RS485 ポートを選択します。

ボーレート	接続機器のボーレートに合わせて設定してください。現在対応可能なボーレートは 300、1200、2400、4800、9600、19200 です。
データビット	現在対応可能なデータビットは 7 ビット、8 ビットです。
検査方法	接続機器の検出方法に合わせて設定してください。現在対応しているのは、パリティなし、奇数パリティ、偶数パリティ、0 パリティ、1 パリティの5種類です。
ストップビット	接続機器のストップビットに合わせて設定してください。現在対応可能なのは 1、1.5、2 です。

## データ収集器のホットスポットを設定する

### 注記

- データ収集器は、近距離での設定のために WiFi ホットスポット信号を提供します。Web または Solargo アプリで WiFi ホットスポット信号に接続後、データ収集器の調整が可能になります。
- ホットスポット信号の SSID とパスワードは変更可能です。変更後は、新しい SSID とパスワードを使用して、WEB または APP に再度ログインしてください。



パラメータ	説明
SSID	EzLogger の WIFI 名、初期名称：Log-***。
パスワード	EzLogger の WIFI と接続するためのパスワード。初期パスワード：12345678。
有効にしますか	WIFI 信号を ON/OFF します。

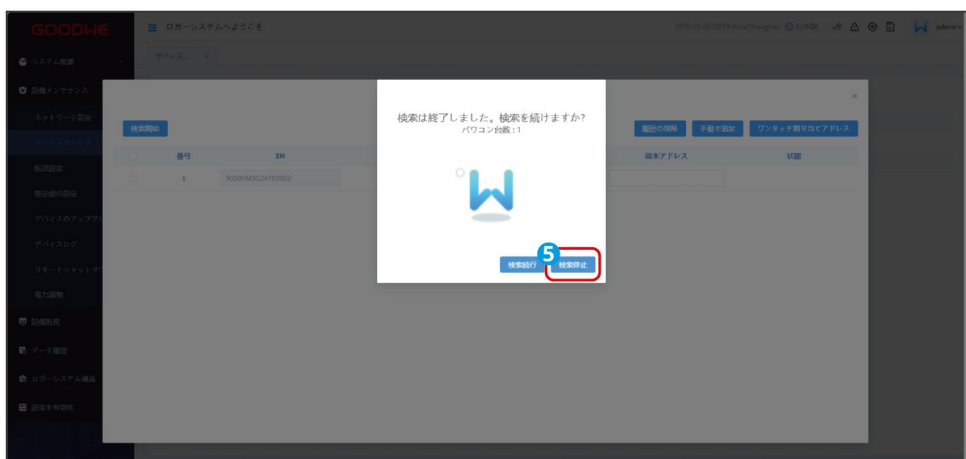
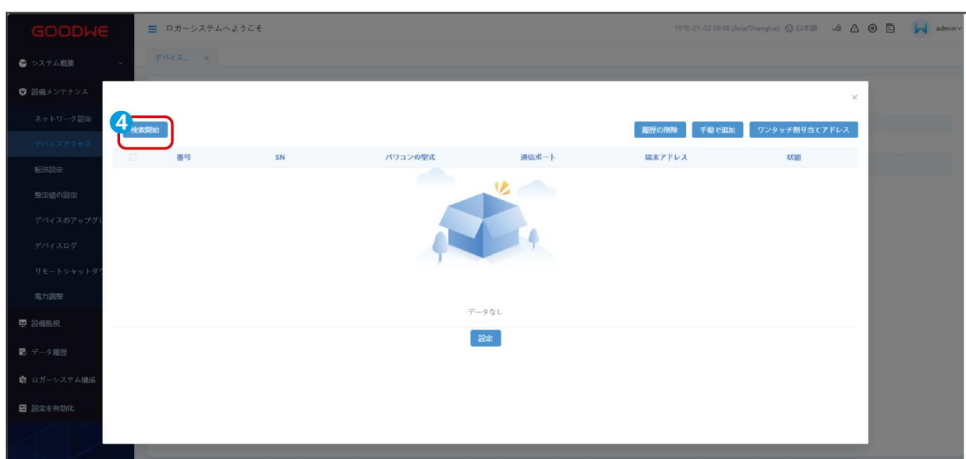
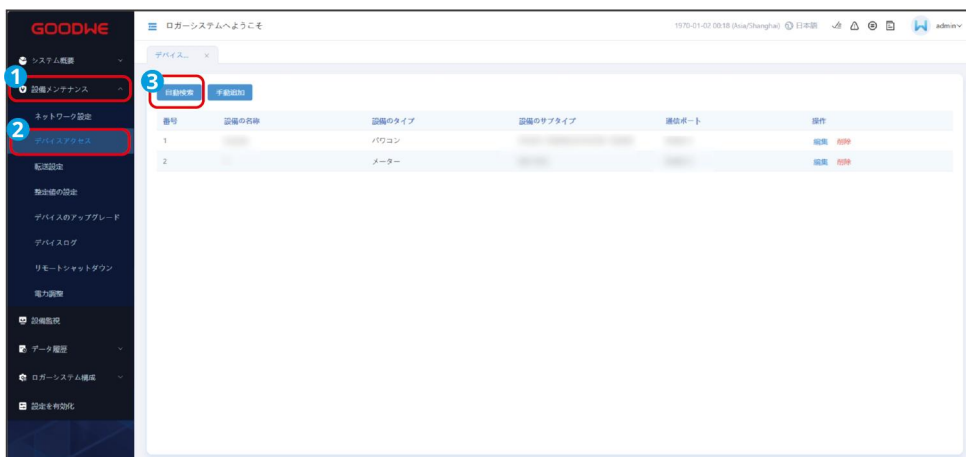
## 8.2.4 発電システムを構築

### 8.2.4.1 自動検索でデバイスを追加する

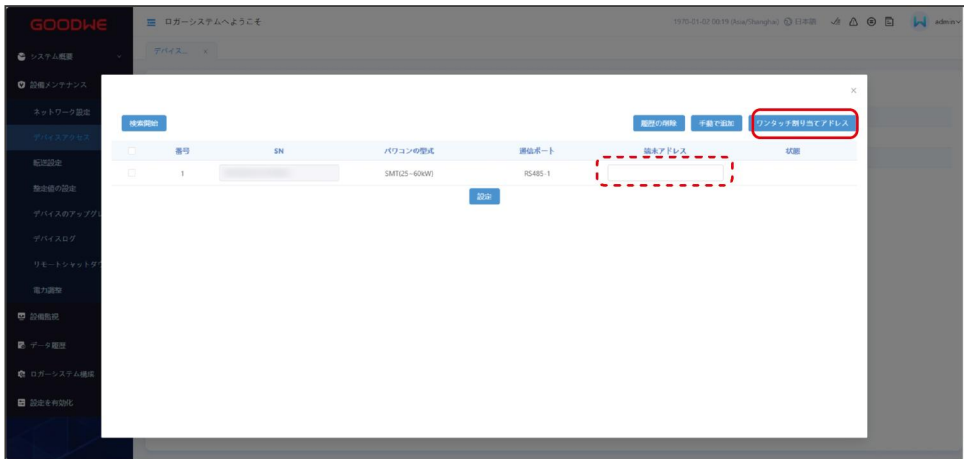
#### 注記

自動検索で第三者デバイス（例：第三者の電力計）が検出できない場合は、手動で追加してネットワークに組み込んでください。

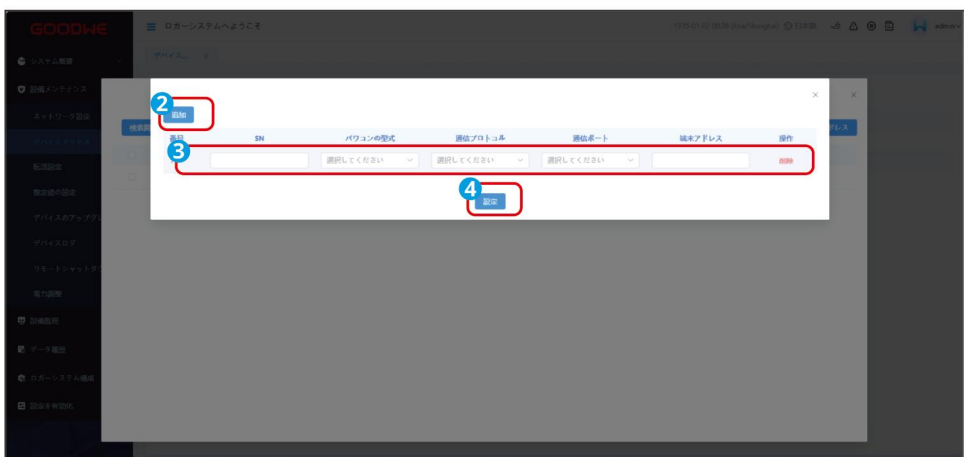
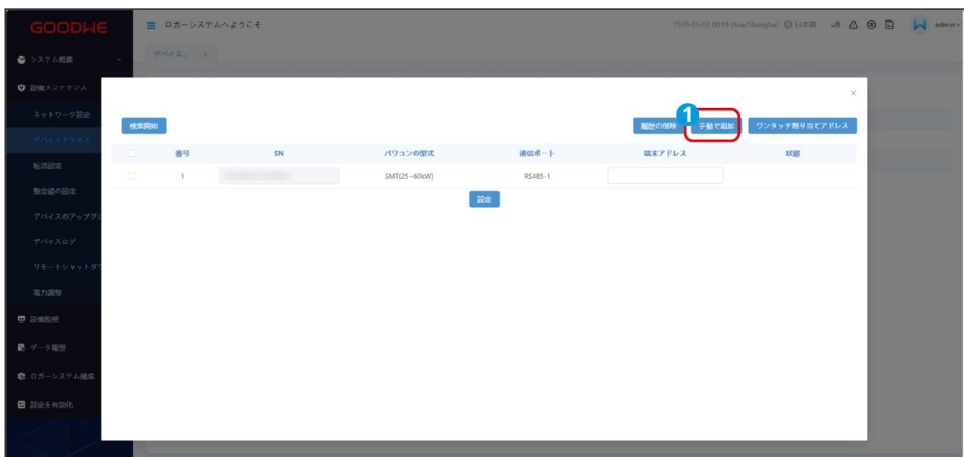
**ステップ 1**：以下の手順に従ってデバイスを検索します。画面に表示された検索結果のデバイス数が設計したデバイス数と一致する場合、「検索終了」をクリックします。もしデバイスが検索できない場合は、デバイスの RS485 接続が正常かどうかを確認してください。



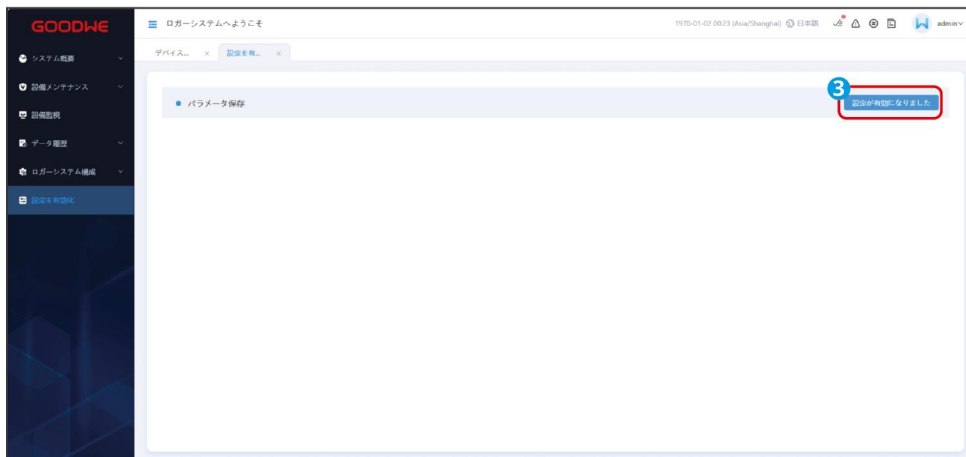
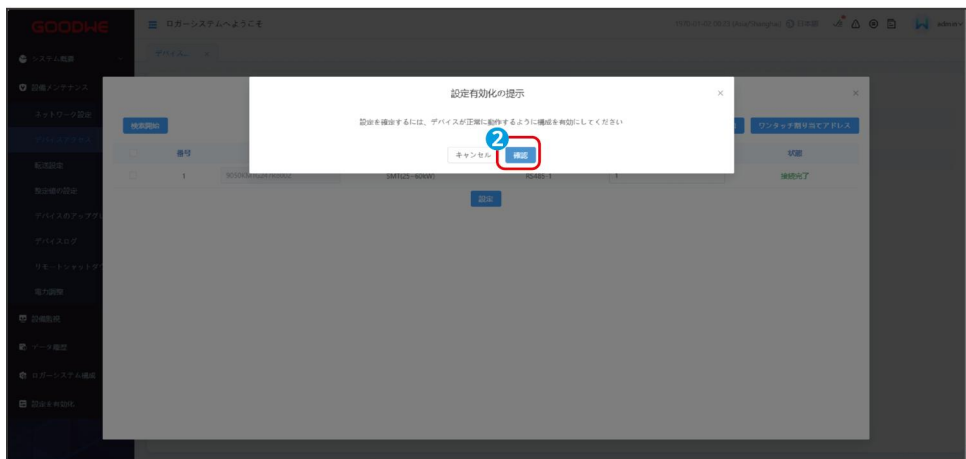
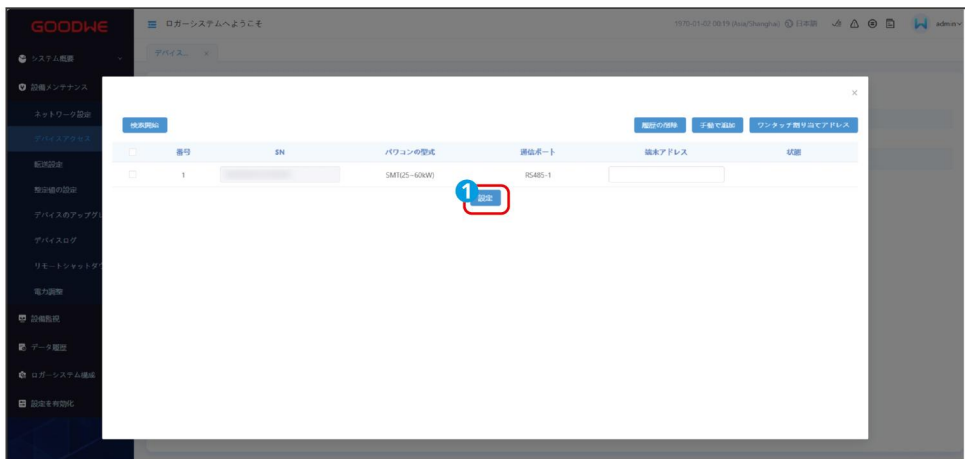
ステップ2：実際のニーズに応じて、端末アドレスを手動で入力するか、一括割り当て機能を使用して自動的にアドレスを割り当てます。



ステップ3：（オプション）必要に応じて、手でデバイス情報を入力してデバイスを追加します。追加する前に、デバイスのモデル、デバイスSN、デバイスが接続されている通信ポートなどの情報を確認してください。

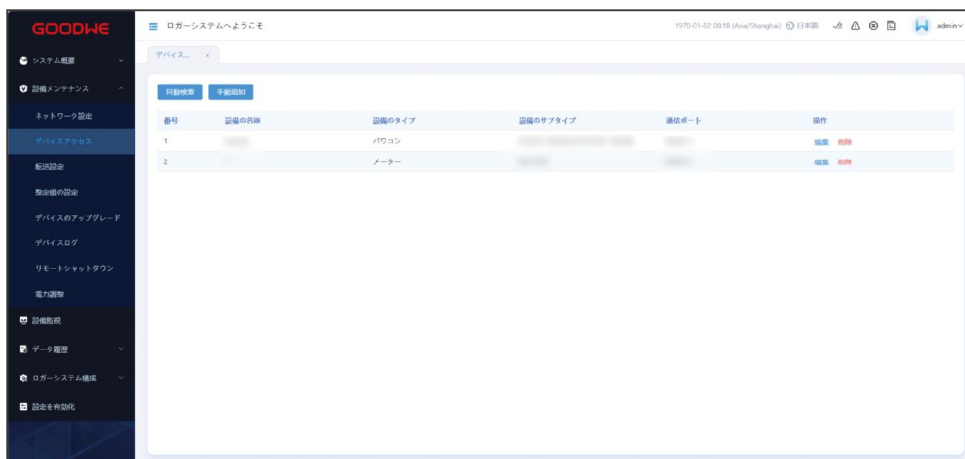


ステップ4：設定をクリックし、表示された指示に従って設定を適用します。



ステップ5：システムのネットワーク設定が完了したら、デバイス接続画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいかを確認します。



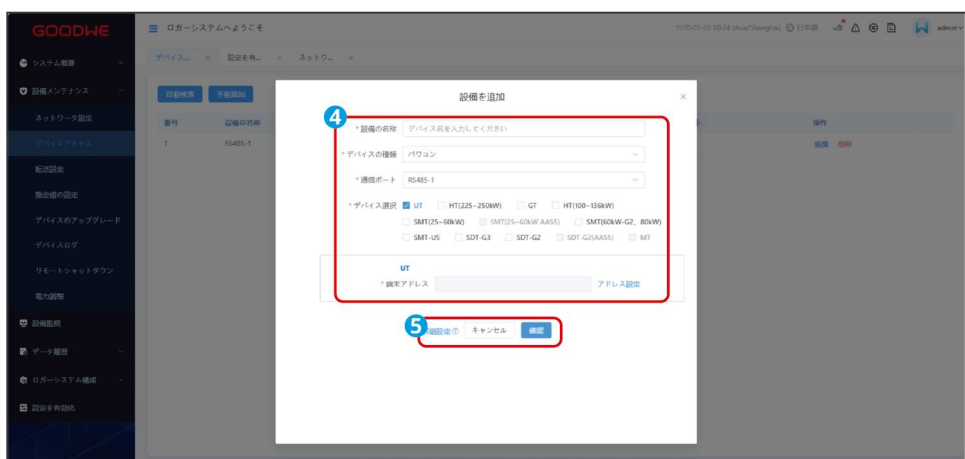
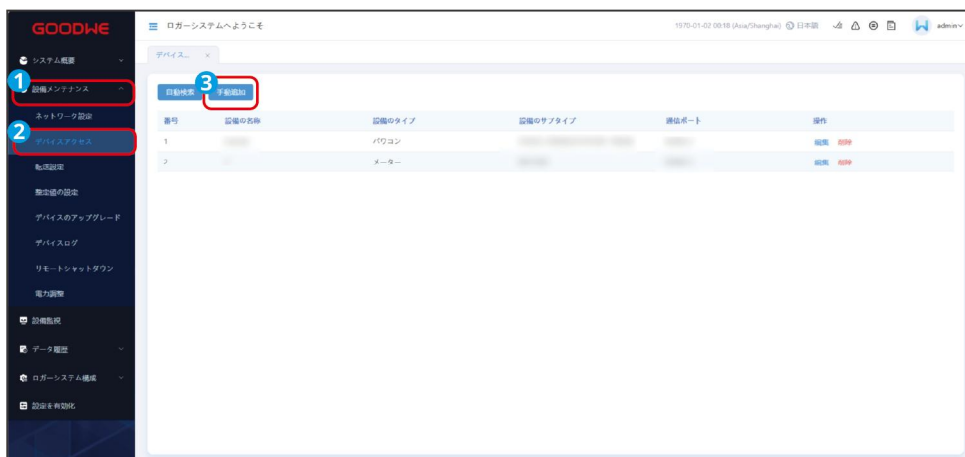


### 8.2.4.2 手動でデバイスを追加する

#### 注記

手動でデバイスを追加する場合は、事前にデバイスのモデル、デバイス SN、デバイスが接続されている通信ポートなどの情報を確認してください。これらの情報が不完全な場合、追加が失敗する可能性があります。

**ステップ 1:** 以下の手順を参考にして、デバイスを手動で追加してください。



## パワコンの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	パワコン名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
デバイスの種類	「パワコン」を選択してください。
通信プロトコル	パワコンの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応
デバイスの選択	<p>実際接続したパワコンを設定できます。異なる機種のパワコンが同じポートに接続できます。</p> <p>UT と HT (225 ～ 250kW)、または GT、HT (100 ～ 136kW)、SMT (25 ～</p>

	60kW)、SMT (80kW)、SMT-US、SDT-G3、SDT-G2 を同じ RS485 回路に入れることが可能。
端末 アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコン IP アドレスです。実際の発電所状況に合わせて、複数台のパワコンを一括で設定することも可能。実際状況に基づいて設定する必要がない場合は、自動的に生成することを選択できます。通信アドレスが SolarGo アプリ内のアドレスと一致していることを確認してください。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>

## メーターの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	メーター名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
デバイスの種類	「メーター」を選択してください。
通信プロトコル	メーターの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
通信インターフェース	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
デバイスのサブタイプ	Modbus-RTU プロトコルで通信するメーターを使用する場合、表示されます。実際に接続するメーターの型式に合わせて設定してください。選択可能な機種：: GoodWe 電気メーター (GM330)、UMG604PRO、Ankerui-DTSD1352、Schneider-IEM3255、その他。
メーターの用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーターの実際の使用用途に合わせて選択。系統側メーターまたは連系点電力メーターが選択可能。</li> <li>● 系統側メーター: 逆潮流防止に使用されます。選択可能な機種： GoodWe スマートメーター (GM330)。</li> <li>● 連系点メーター: 計測に使用されます。選択可能な機種：</li> </ul>

	Schneider-IEM3255。
端末アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーターのデバイスアドレスは実際の発電所計画に応じて設定されません。実際の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。</li> <li>● メーターアドレスとパワコンアドレスを同一アドレスに設定しないでください。</li> </ul>
アクセスポイント テーブル	実際の状況に応じてアクセスポイントテーブルを選択します

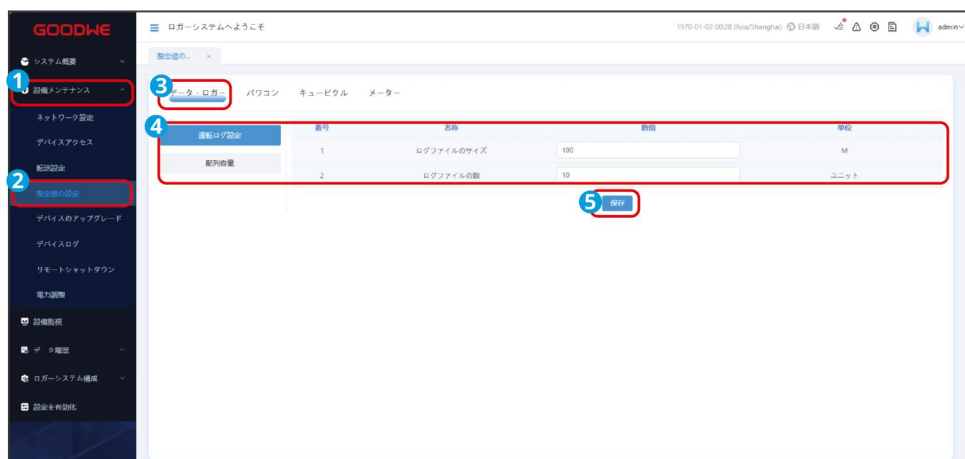
## 他デバイスの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	デバイス名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
デバイス種類	他のデバイスを選択してください。
通信プロトコル	デバイスの通信プロトコルより設定、Modbus-RTU、Modbus-TCP 及び GW-XPB は選択可能。
通信プロトコルを Modbus-RTU に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。	
通信ポート	EzLogger に接続された実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
デバイスの サブタイプ	デバイスのサブタイプを選択します。環境監視装置、箱式変電所、その他が選択可能です。
箱式変電所 サブタイプ	箱式変電所を選択する場合は箱式変電所のサブタイプは通常型また分散型に設定できます。

端末 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>
プロトコル タイプ	デバイスに応じて、使用するプロトコルの種類を選択します。
アクセスポイントテ ーブル	追加デバイスのアクセスポイントテーブルを導入します。
IEC104 転送	追加されたデバイスの転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
Modbus-TCP 転送	追加されたデバイスの転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
<b>通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。</b>	
関連デバイス	通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、関連デバイスを共通にしてください。
通信モード	UDP、TCPClient、TCPServer が選択可能、デバイスの通信モードに応じて設定してください。
ローカル IP アドレ ス	追加されたデバイスと接続するために、EzLogger の IP アドレスを設定します。
ローカルポート	EzLogger のポート番号を設定します。デフォルト値は「502」です。
リモート IP アドレ ス	追加した他のデバイスの IP アドレスを設定します。
リモートポート	追加した他のデバイスのポート番号を設定してください。固定されていないポート番号の場合は「0」を記入してください。
端末アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デバイスアドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際</li> </ul>

	<p>の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>
<p>通信プロトコルを GW-XPB に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。</p>	
通信ポート	<p>EzLogger に接続されている実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1、～ RS485-4 に対応しています。</p>
端末 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加設備のアドレス。実際の発電所計画に応じて設定されます。</li> <li>異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>

## 8.2.5 EzLogger のパラメータ設定



ワークシート名	パラメータ	説明
ポート設定	HTTP	登録された EzLogger のポート番号に応じて設定します。
	HTTPS	
稼働ログ設定	ログのサイズ	実際のニーズに応じて、保存するログのサイズと

	ログの数	数を設定します。
アレー容量	アレー容量	実際の太陽光発電アレーのサイズに合わせて設定。

## 8.2.6 パワコンのパラメータ設定

### 注記

- パワコンのモデルが異なれば、設定するパラメータも異なります。実際の画面を参照してください。
- 機能をオンまたはオフにする必要がある場合は、0 または 1 を入力してください。0 は特定の機能をオフにします、1 は特定の機能をオンにします。



## 系統のパラメータ

パラメータ名	説明
グリッドコード	パワコンが設置されている国/地域エリア電力系統規格およびパワコンの応用シーンに応じて設定します。
雷保護モジュール検出スイッチ	雷保護モジュール検出機能を有効または無効にします。

電源オン (系統連系前のセルフテストを行う)	電源投入指令を出して、系統連系前のセルフテストを許可します。
電源オフ(系統連系前のセルフテストを行わない)	電源開放指令を出して、系統連系のセルフテストを停止します。
出力モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコンの応用シーンに応じて、パワコンの出力に N 線があるかを設定します。</li> <li>● 0 は三相三線式(3W)、1 は三相四線式(3W/N)を意味します。</li> </ul>
シャドロー MPPT 機能スイッチ 1	太陽光発電パネルのストリングに明らかに影がかかっている場合、この機能が有効にすると、パワコンは定期的に MPPT スキャンを行い最大電力値を見つけ出します。
有効電力固定値ディレーティング	パワコンの有効電力出力を固定値に従って調整します。
有効電力ディレーティング パーセンテージ(0.1%)	パワコンの有効電力出力を定格電力のパーセンテージで調整します。
無効電力補償 (PF)	パワコンの力率を設定します。
無効電力補償(Q/S)	パワコン出力の無効電力を設定します。
無効電力補償固定値	固定値に従ってパワコンの無効出力電力を調整します。
夜間無効電力機能スイッチ	夜間無効電力補償機能を有効または無効にします。一部の応用シーンでは、電力会社は、ローカル電力システムの力率が基準に満たさせるために、夜間無効電力補償を実行するようパワコンに要求します。
夜間無効電力パラメータ有効か	この設定が有効すると、パワコンは夜間無効電力補償固定値の設定値に従って無効電力を出力し、そうでない場合は、パワコ



	ンはリモート指令に従って無効電力を出力します
夜間無効電力調達率 (0.1%)	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力はパーセントで供給されます。
夜間無効電力補償の固定値	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力は固定値で供給されます。

## 保護パラメータ

パラメータ名	説明
過電圧発動の N 次値 (0.1%)	電力システムの N レベル過電圧保護ポイントを設定します。
過電圧トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル過電圧保護時間を設定します。
電圧低下トリガー N 次値 (0.1%)	電力システムの N レベル不足電圧保護ポイントを設定します。
電圧低下トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル不足電圧保護時間を設定します。
10 分間過電圧トリガー値 (0.1%)	10 分間の過電圧保護ポイントを設定します。
10 分間の過電圧トリップ時間	過電圧保護時間を 10 分間に設定します。
周波数上昇トリガの N 次トリップ時間	電力システムの N レベルの過周波数保護ポイントを設定します。
周波数上昇トリガの N 次トリッピング時間	グリッド N レベルの過周波数保護時間を設定します。
周波数低下トリガ N 次値	電力システムの N レベル不足周波数保護ポイントを設定します。

周波数低下トリガ N 次トリップ時間	電力システムの N レベル不足周波数保護時間を設定します。
起動時の系統連系電圧上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの上限値より高い場合連系できません。
起動時の系統連系電圧下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの下限値より低い場合系統連系できません。
起動時の系統連系周波数上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの上限値より高い場合系統連系できません。
起動時の系統連系周波数下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの下限値より低い場合系統連系できません。
起動時の系統連系の待ち時間	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、設備が起動までの待ち時間を設定します。
起動時の系統接続電力負荷率 (0.1%Pn/分)	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、起動時から出力の上昇率を設定します。
再連系電圧上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
再連系電圧下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
再連系周波数上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの周波数の上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。

再連系周波数下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統周波数がこの周波数の下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
系統再接続の待ち時間	系統電圧と周波数が正常に戻ったら、パワコンが系統に再連系するまでの待ち時間。
系統再接続出力上昇率 (0.1%Pn/min)	該当国または地域の要件に従って、初回系統連系以外にパワコンが 1 分間あたりの出力増加率。 例: 10 に設定すると、再連系時の出力上昇率が 10%P/Srated%% ということです。
LVRT 機能有効化ビット	LVRT、電力系統が異常で短期間に低電圧に陥った場合、パワコンは電力系統からすぐに切り離さず一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの LVRT 機能がオンになります。
LVRT 深さ n	LVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
LVRT 持続時間 n	LVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
LVRT 作動閾値	LVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
LVRT 終了閾値	LVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
LVRT 正相無効電力 K 値	LVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を出力する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。

LVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、LVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、LVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
LVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	LVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、LVRT の時、系統電圧がこの設定値より低ければ、ゼロ電流モードに移行します。
HVRT 有効化ビット	HVRT とは、電力系統が異常で短期間に高電圧になった場合、パワコンが電力系統からすぐに切り離さず、一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの HVRT 機能がオンになります。
HVRT 深さ n	HVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
HVRT 持続時間 n	HVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
HVRT 作動閾値	HVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
HVRT 終了閾値	HVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
HVRT 正相無効電力 K 値	HVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を放出する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
HVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、HVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、HVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。

HVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	HVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、HVRT の時、系統電圧がこの設定値より高ければ、ゼロ電流モードに移行します。
電流分配モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無効電流と有効電流の分配モードを設定します。</li> <li>● 「0」は無効電力優先で、「1」は有効電力優先です。「2」は定常電流モードを表します。</li> </ul>
FRT 終了時の有効電力復帰モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FRT 終了時の有効電力回復モードです。スロープ復帰、一次ローパスフィルター復帰、要件なし復帰、などのモードに対応しています。</li> <li>● 「0」はオフ、「1」はスロープ応答を表します。「2」は時定数、「3」は応答時間を表します。</li> </ul>
FRT 終了時の有効電力復帰率	FRT から復帰中、有効電流は FRT 前の時点の有効電流に復帰する速度。
FRT 終了時の有効電力復帰一次ローパスフィルタリング	FRT から復旧後、有効電流は 1 次ローパス フィルタリングの特性応答で復帰します
FRT 終了時の無効電力回復モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FRT から復旧後、無効電流回復方法はスロープ回復、一次ローパス フィルター回復、要求なしに対応可能。</li> <li>● 0 はオフを表し、1 は傾斜応答を表し、3 は応答時間を表します。</li> </ul>
FRT 終了時の無効電力回復率	FRT から復旧後、無効電流はスロープ値に従って回復します。
FRT 終了時の無効電力無効電力回復用の一次ローパスフィルター	FRT から復旧後、無効電流は一次ローパスフィルターの特性応答によって回復します。

周波数スルー有効化ビット	周波数スルーを有効にすると、系統周波数が異常な場合でも、パワコンは指定した時間内に発電を継続します
N 次不足周波数スルー周波数値_UFn	電力系統周波数低下時スルー開始閾値を設定します。
N 次不足周波数スルー持続時間_UTn	電力系統周波数低下時スルー時間を設定します。
N 次過周波数スルー周波数値_OFn	電力系統周波数上昇時スルー開始閾値を設定します。
N 次過周波数スルー持続時間_OTn	電力系統周波数上昇時スルー時間を設定します

## 特性パラメータ

パラメータ名	説明
PID 防止機能スイッチ	PID 防止機能を ON/OFF にします。
PID 修復機能スイッチ	PID 修復機能を ON/OFF にします。
逆潮流防止スイッチ	逆潮流防止機能を ON/OFF にします。
逆潮流電力パーセンテージ設定	パーセンテージで逆潮流電力を設定します。
三相逆潮流防止モード選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 逆潮流モードを設定します。</li> <li>● 「0」は三相の合計電力を逆潮流させないこと、「1」はどの相でも逆潮流させないこと</li> </ul>
外付けメーターの CT 比	メーターの変流比を設定します。
ISO 閾値設定	設備を保護するため、パワコンはセルフテストを開始すると

	きに入力側の対地間の絶縁抵抗を検出します。検出値が ISO 閾値設定より低い場合、パワコンは系統に接続されません。
NPE 電圧過電圧障害検出 スイッチ	NPE 電圧過電圧障害検出機能を ON/OFF にします
N-PE エラー閾値	N-PE 過電圧故障閾値
有効電力調達応答モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効電力発信応答モードを設定します。サポート: スロープモードまたは 1 次ローパス フィルター モード。</li> <li>● 「0」: 無効。「1」 はスロープ モード。「2」 は 1 次ローパス時定数。「3」 は 1 次ローパス応答時間</li> </ul>
有効電力変化勾配	パワコン有効電力の変化率を設定します。
有効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	有効電力調達のローパス フィルター時間パラメータを設定します。
無効電力調整応答モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無効電力調整モードを設定する。設置无功调度响应的方式。支持: 斜率模式或一阶低通滤波模式。</li> <li>● 「0」: 無効; 「1」: スロープモード; 「2」 一次ローパス時間定数; 「3」: 一次ローパス応答時間。</li> </ul>
無効電力変化勾配	パワコン無効電力の変化率を設定します。
無効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	無効電力調整のローパス フィルター時間パラメータを設定します。

## 電力調整パラメータの設定

パラメータ名	説明
周波数上昇閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が当閾値を超える場合、パワコンが有効電力を下げる必要があります。

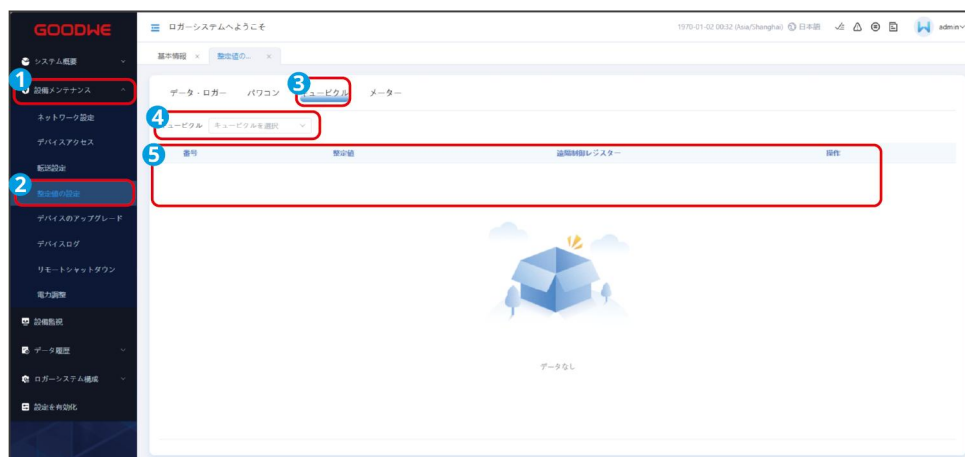
周波数上昇パワースロープ(Slope)	Slope モードでは、系統周波数が過周波数点を超えると、パワコンによる有効電力のディレーティングの傾き。
P(F) カーブを有効する	過周波数が発生する時のディレーティングを ON/OFF にします。
周波数低下閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が不足周波数閾値より低い場合、パワコンによる有効電力出力を増加する必要があると規定しています。
電力回復スロープ	電力回復スロープを設定して、過周波数から復旧後の出力上昇率。
周波数ヒステリシス点	過周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
沈黙時間	過周波数ヒステリシス機能の沈黙時間。
周波数上昇終了値	過周波数ディレーティングが終了時の周波数を設定します。
基準出力 (スロープ)	スロープモードでは、系統周波数が周波数超過点を超えると、パワコンが出力する有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値が使用されます
周波数ヒステリシス点	不足周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
出力復旧のスロープ	不足周波数現象が終了後の出力復旧のスロープ。
不足周波数の終点	不足周波数時の出力上昇が終わる周波数を設定します。
基準出力 ((Slope))	スロープモードでは、系統周波数が不足周波数点より低い場合、パワコンは有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値。
不足周波数出力スロープ	スロープモードでは、系統周波数が周波数不足点よりも低い



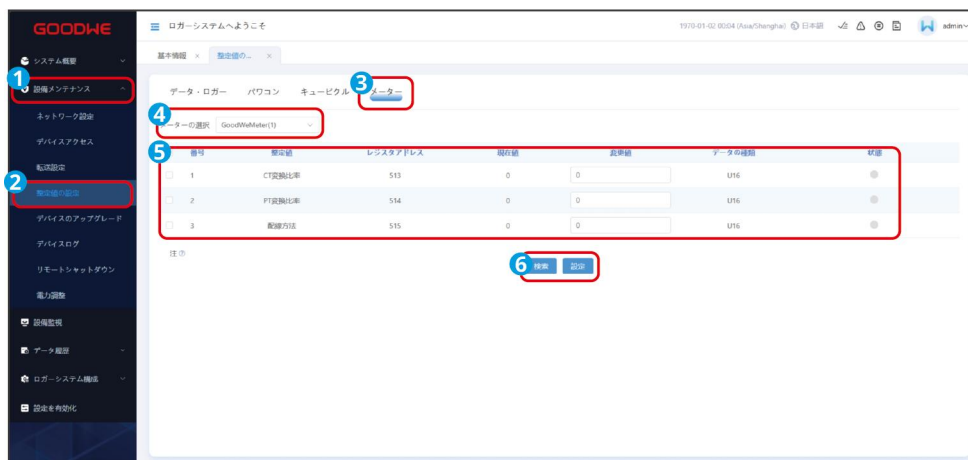
(Slope)	場合、パワコン出力有効電力ディレーティングの傾き。
沈黙時間	不足周波数ヒステリシス機能により沈黙時間。
PU カーブの有効化	PU カーブを ON にします。
Vn 電圧値(0.1%)	PU カーブに対応する電圧パーセンテージを設定します。
Vn 有効電力値(0.1%)	PU カーブに対応する出力パーセンテージを設定します。
PU カーブ出力応答モード	PU カーブ出力の応答モードを設定します。対応可能: スロー プ モードまたは一次応答モード。
PU カーブ出力変化率	PU カーブの出力応答モードがスロープモードの場合、対応す る出力変化スロープを設定します。
PU 曲線の応答時間パラ メータ	PU カーブ出力の応答モードが 1 次応答モードの場合、対応 する応答時間を設定します。
QU 曲線有効か	QU カーブをオン/オフスイッチ
Vn 電圧値(0.1%)	QU 曲線に対応する電圧パーセンテージを設定します。
Vn 有功値(0.1%)	設置 QU 曲線対応的有功功率百分比。
QU カーブ応答時間パラメ ータ	QU 曲線の一次応答モードに対する反応時間。
曲線出力イン (0.1%)	QU 曲線の出力パーセントを入力します。
曲線出力 アウト(0.1%)	QU 曲線から出る出力の割合。
cos φ (P) 曲線イネーブ ルビット	cosφ(P)カーブを ON にします。
n 点の出力(0.1%)	cosφ(P) 曲線に対応する出力のパーセンテージ。

n 点 cos φ値(pf,0.001)	cosφ(P) カーブに対応する cosφ 値。
cosφ(P)曲線の応答時間定数	cosφ(P) 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。
曲線電圧イン (0.1%)	cosφ(P) 曲線に入る電圧のパーセンテージ。
曲線電圧 アウト(0.1%)	cosφ(P) 曲線から出る電圧のパーセンテージ。
QP カーブマークイネーブルビット	P カーブマークを ON にします。
QP カーブ Pn	QP 曲線に対応する有効電力のパーセンテージ。
QP カーブ Qn	QP 曲線に対応する無効電力のパーセンテージ。
QP カーブ出力応答時間定数	QP 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。

## 8.2.7 サブ変電所パラメータの設定



## 8.2.8 メーターのパラメータ設定

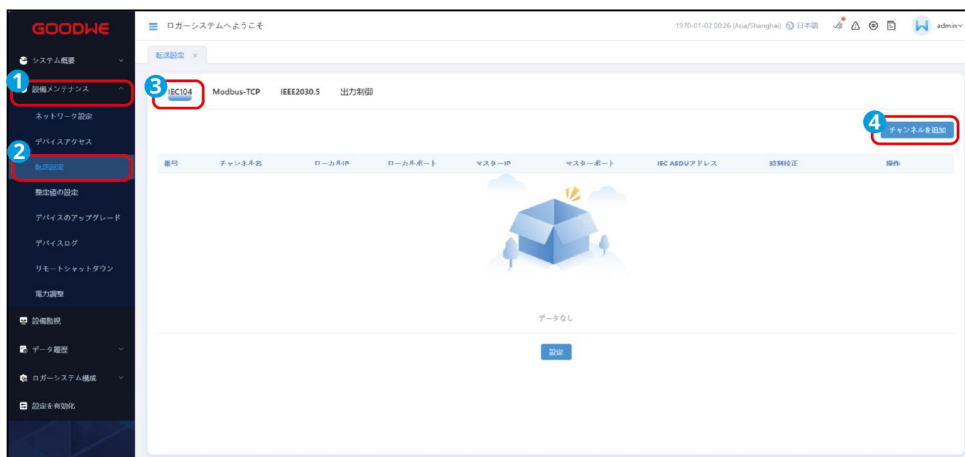


## 8.2.9 転送パラメータの設定

転送パラメータの設定より、EzLogger が収集したデータを対応可能なプロトコルで第三者のモニタリングシステムに転送することが可能です。

### IEC104 パラメータ

EzLogger が IEC104 プロトコルで管理システムと通信する場合、IEC104 パラメータの設定が必要です。



パラメータ名	説明
チャンネル名	設備名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
ローカルIP	EzLogger の IP アドレスに設定します。
ローカルポート	EzLogger のポートに設定します。
リモートIP	IEC104 管理システムの IP アドレスに設定します。
リモートポート	IEC104 管理システムのポートに設定します、リモートポートが決まっている場合、“0”を入力してください。
ポイントテ	アクセスポイントテーブルを選択してください。

ケーブル選択	
IEC ASDU アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 転送ポイントテーブルを EzLogger に導入し、転送パラメータを設定する時、管理システムの転送ポイントテーブルをマッピングすることが可能、実際状況に応じて選択してください。</li> <li>● ASDU アドレスのデフォルト値は 1。</li> </ul>
時刻校正	実際状況に応じて、リモート設備と時刻合わせるか。

## Modbus-TCP パラメータ

EzLogger が Modbus-TCP プロトコルで管理システムと通信する場合、Modbus-TCP パラメータの設定が必要とです。

The first screenshot shows the '転送設定' (Transfer Settings) page in the GOODWE EzLogger web interface. The left sidebar contains navigation options like 'システム管理', '設置メンテナンス', 'ネットワーク設定', 'デバイスアクセス', '転送設定', '設定値の設定', 'デバイスのアップグレード', 'デバイスログ', 'リモートシャットダウン', '電力調整', '状態監視', 'データ履歴', 'ロガーシステム構成', and '設定を有効化'. The main content area shows a table for IEC104 channels. The table has columns for '番号' (Number), 'チャンネル名' (Channel Name), 'ローカルIP' (Local IP), 'ローカルポート' (Local Port), 'マスターIP' (Master IP), 'マスターポート' (Master Port), 'Modbusアドレス' (Modbus Address), '時刻校正' (Time Synchronization), and '操作' (Action). A red box highlights the 'Modbus-TCP' protocol selection (3) and the 'チャンネル名を追加' (Add Channel Name) button (4).

The second screenshot shows a modal dialog for '新しいチャンネル' (New Channel). The dialog has fields for 'チャンネル名' (Channel Name), 'ローカルIP' (Local IP), 'ローカルポート' (Local Port), 'マスターIP' (Master IP), 'マスターポート' (Master Port), 'ロガーのモジュールTCPアドレス' (Logger Module TCP Address), and '時刻校正' (Time Synchronization). A red box highlights the 'キャンセル' (Cancel) button (6).

パラメータ名	説明
チャンネル名	設備名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてく

	ださい。
ローカル IP	EzLogger の IP アドレスに設定します。
ローカルポート	EzLogger のポートに設定します。デフォルト値は「502」。
マスタ機 IP	Modbus-TCP 管理システムの IP アドレスに設定します。
マスタ機ポート	Modbus-TCP 管理システムのポートに設定します。
ポイントテーブルの選択	導入するポイントテーブルを選択してください。
Modbus アドレス	Modbus-TCP 管理システムのアドレス。
時刻校正	実際状況に応じて、リモート設備と時刻合わせるか。

## 出力制御

日本およびその他の地域の要件に応じて、パワコンが電力会社サーバーから送られたスケジュールより、出力制御を行う場合、出力制御パラメータを設定する必要があります。



パラメータ名

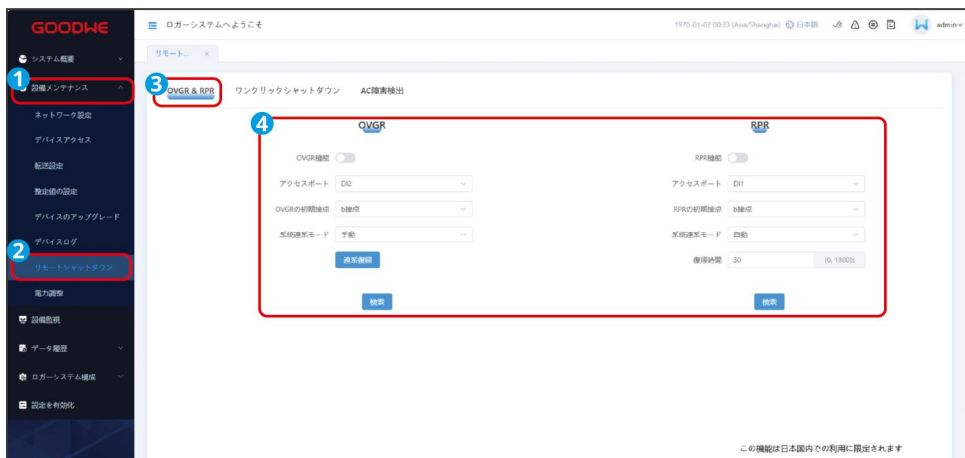
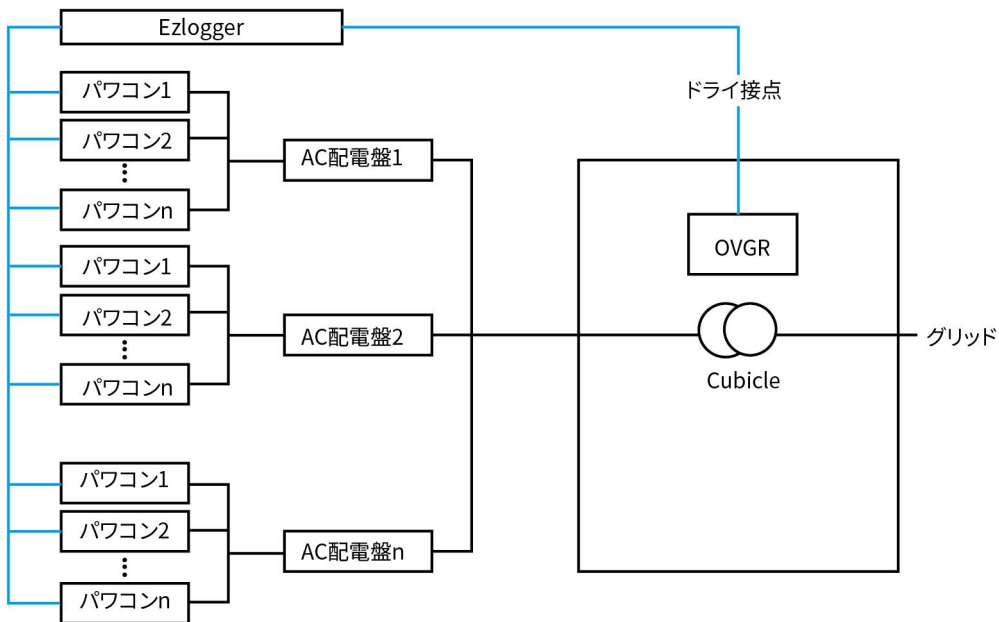
説明

遠隔出力制御スイッチ	出力制御機能を ON/OFF にします。
制御エリア	出力制御の該当地域を選択します。選択可能なのは：九州、中部、関西、四国、北海道、東京、東北。
出力制御時間	出力制御時間を設定します。
発電所 ID	電力会社のサーバーと接続した後、電力会社が発電所に割り振った ID。
遠隔出力制御サーバー	出力制御エリアを選択したら、自動に出力制御用のサーバーのアドレスが出ます。
余剰電力売電	余剰電力売電機能を ON/OFF にします。
PV 容量	太陽光パネルの総容量を設定します。

## 8.2.10 外部信号によりシャットダウン機能の設定

### OVGR&RPR

日本およびその他エリアの規定に従って、OVGR を EzLogger の任意の DI に接続して、パワコンのリモートシャットダウンを実現します。



パラメータ名	説明
OVGR	
OVGR 機能	OVGR でのリモートシャットダウン機能を ON/OFF にします。
接続ポート	実際に接続した EzLogger のポートを選択してください。選択可能：DI1、DI2、DI3、DI4、なし。
OVGR の初期設定	OVGR 初期の接点状態、常開と常が選択可能。
系統連系モード	リモートシャットダウンされたパワコンが再起動時に、系統連系の方法、手動と自動が選択可能。

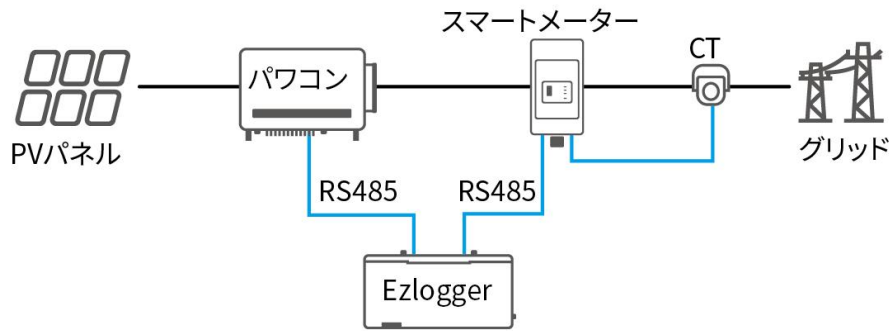


起動ディレイ	系統連系モードが自動の場合、OVGR が初期状態に復帰する時、パワコンが一定時間経って自動連系します。
系統連系復帰	系統連系モードが手動の場合、パワコンが解列から再連系する時に、「系統連系復帰」ボタンをクリックする必要があります。 自動であれば、パワコンが系統と自動連系になります。
RPR	
RPR 機能	RPR 機能を ON/OFF にします。
接続ポート	実際に接続した EzLogger のポートを選択してください。選択可能：DI1、DI2、DI3、DI4、なし。
RPR の初期接点状態	RPR 初期の接点状態、常開と常閉が選択可能。
系統連系モード	リモートシャットダウンされたパワコンが再起動時に、系統連系の方法、手動と自動が選択可能。
スタートアップディレイ	系統連系モードが自動になる場合、RPR が初期状態に復旧する時、パワコンが一定の時間経って自動連系します。
系統連系復帰	系統連系モードが手動の場合、パワコンが解列から再連系する時に、「系統連系復帰」ボタンをクリックする必要があります。 自動であれば、パワコンが系統と自動連系になります。

## 8.2.11 出力調整パラメータの設定

### 出力制限

システム内の負荷が太陽光発電量を消費し切れない場合、余った電力が系統に流し逆潮流になります。それを避けたい場合、スマートメータを設置し、データ収集設備より発電量をモニタリングして、系統に流す電力量を制御することが可能です。



パラメータ名	説明
オングリッドパワコンの設置容量	太陽光発電システム中のすべてのパワコンの合計容量。
最大給電電力	一部の国または地域の要件に従って、設備が実際に系統に出力できる最大電力を設定します。
制御開始	出力制御機能を ON/OFF にします。

制限方法	<p>実際の状況に応じて、パワコンの出力電力を制御する方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総電力: 系統連系点の総電力が出力電力制限値を超えないように制御します。</li> <li>● 単相電力: 系統連系点の各相電力が出力電力制限値を超えないように制御します。</li> </ul>
逆潮流保護の処理方式	<p>逆潮流が発生し、最大保護時間 (デフォルトは 5 秒) を超えると、次の保護措置を選択することが可能:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力パーセンテージ: パワコンが定格出力のパーセンテージで運転を継続します。</li> <li>● パワコン停止</li> </ul>
逆潮流保護の処理電力パーセンテージ	<p>パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。</p>
最大給電電力オフセット値	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコンが実際に系統に給電できる最大電力の調整可能範囲を設定します。</li> <li>● 系統に最大電力 = 系統への最大給電電力 + 系統への最大給電電力オフセット値</li> </ul>

## 通信設定



パラメータ名

説明

パワコン通信異常の処理	通信異常設定機能を有効または無効にします。有効にすると、データ収集器が通信異常を検出した際に保護措置が取られます。
パワコン通信タイムアウト時間	インバーターとデータ収集器の通信異常が設定時間を超えると、適切な保護措置が取られます。
パワコン異常の処理方法	インバーターとデータ収集器の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力百分比：デバイスは定格出力のパーセンテージに基づいて運転を続けます。</li> <li>● デバイス停止。</li> </ul>
メーター通信異常の処理	本機能を ON にする場合、メーターと EzLogger 間の通信異常時に保護機能が動作します。
メーター異常の処理方法	メーターとの通信に異常があった時に、次の保護措置を採ることが可能： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力の割合：パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。</li> </ul> <p>パワコンが停止されます。</p>
メータ処理電力パーセンテージ	パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。

## 8.3 SolarGo アプリを使用してシステムを調整します

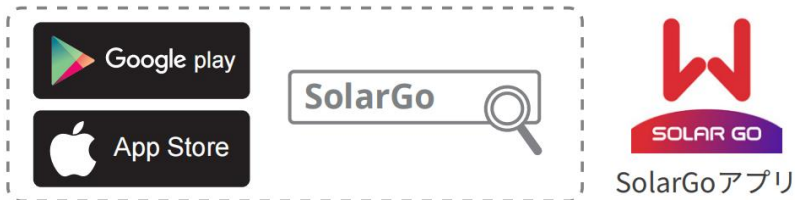
### 8.3.1 アプリのダウンロードとインストール

#### スマートフォン要件：

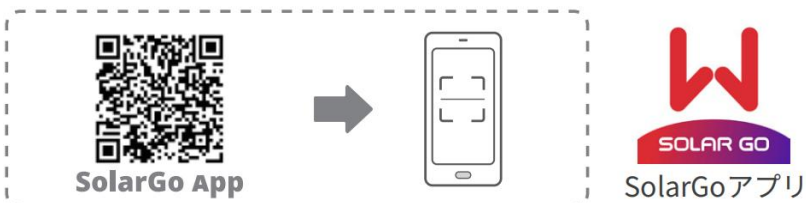
- スマートフォンの OS 要件：Android 4.3 以降、iOS 9.0 以降。
- ブラウザ機能が搭載されており、インターネットに接続可能である。

- WLAN/Bluetooth 機能が搭載されている。

方法 1: Google Play (Android) または App Store (iOS) を開き、「SolarGo」と検索した後、アプリをダウンロードしたうえでインストールします。



方法 2: 以下の QR コードをスキャンして、アプリをダウンロードしたうえでインストールします。



### 8.3.2 アプリにログインする

#### 注記

- 接続する前に、確認してください。
  - スマートフォンの Wi-Fi がオンになっています
  - デバイスの電源が入っており、データ収集器との通信が正常です。
  - データ収集器のアンテナ接続は正常で、Wi-Fi ホットスポット信号は安定しています。
  - SolarGo アプリのシステムバージョンは V5.9.0 以上である必要があります。
- アカウントの安全を確保するため、同じアカウントで Web と SolarGo アプリに同時ログインしてデバイスを調整することはできません。

ステップ 1: スマートフォンの Wi-Fi 設定を開き、データ収集器の Wi-Fi ホットスポット信号に接続します。

デフォルトの Wi-Fi ホットスポット名: Log-\*\*\* (\*\*\*)はデータ収集器のシリアル番号)

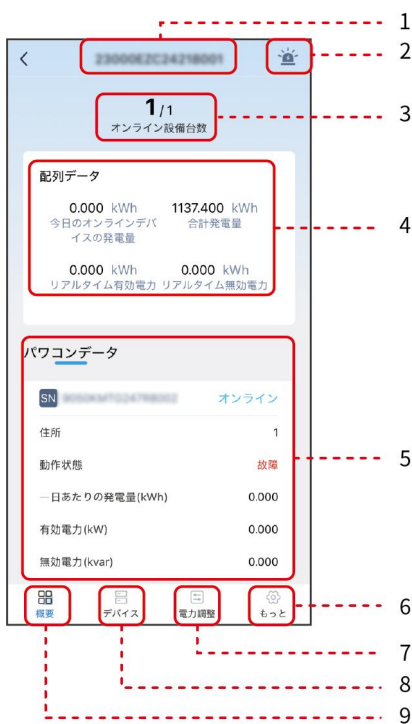
Wi-Fi のデフォルトパスワード: 12345678"

**ステップ 2:** SolarGo アプリを開き、WLAN タブでデバイスを検索します。検索結果に表示されたデバイスのシリアル番号を確認し、接続するデバイスを特定します。

**ステップ 3:** ユーザー名とパスワードを入力してアプリにログインします。 初期ユーザー名: \*\*admin\*\* 初期パスワード: \*\*123456\*\*



### 8.3.3 アプリのインターフェース紹介



番号	説明
1	現在接続されているデータ収集器のシリアル番号。
2	デバイスの故障情報。リアルタイムの故障と履歴の故障を確認することができます。
3	現在のシステムにおけるオンラインデバイスの数。
4	システムの発電データ。
5	インバーターに関連するデータ（例：デバイスのシリアル番号、動作状態、発電データなど）。
6	その他。ネットワーク設定、データ収集器のセキュリティ情報、システム時間などを設定します。
7	出力調整。リモート出力調整機能を設定します。例えば、リモートシャットダウン、DRED、RCRなどの機能を設定できます。
8	デバイス。システムのネットワーク設定、デバイスの追加、削除、設定、デバイス情報の確認などを行います。
9	総覧。クリックすると、システムの総覧情報（オンラインデバイスの数、システムの発電データ、インバーターデータなど）を確認できます。

### 8.3.4 発電システムを構築

#### 8.3.4.1 自動検索でデバイスを追加する

#### 注記

自動検索で第三者デバイス（例：第三者の電力計）が検出できない場合は、手動で追加してネットワークに組み込んでください。

**ステップ 1:** デバイス > ネットワーク設定からネットワーク設定画面に入ります。

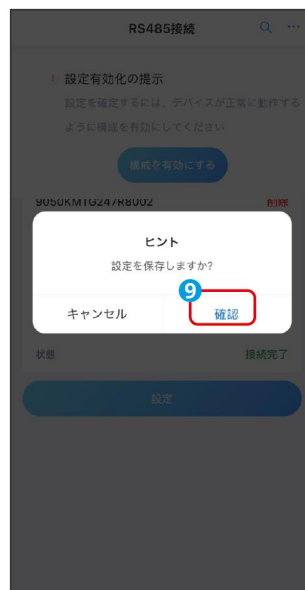
**ステップ 2:** 検索を開始するには、「開始検索」をクリックします。検索結果に表示された

デバイスの数がシステムの実際のデバイス数と一致した場合、「検索停止」をクリックします。もしデバイスの数が常に実際の数と一致しない場合は、デバイスの RS485 接続が正常であるかを確認してください。

**ステップ 3:** 画面に「一括アドレス割り当て」の確認が表示されます。実際のニーズに応じて「確認」または「キャンセル」を選択してください。「キャンセル」をクリックした場合は、デバイスの端末アドレスを手動で設定する必要があります。デバイスの端末アドレスが重複しないようにしてください。

**ステップ 4:** RS485 ネットワーク設定画面でネットワークに接続されたデバイス情報を確認し、「設定」>「確認」>「即時適用」>「設定完了」をクリックして設定を適用します。





### 8.3.4.2 デバイスを手動で追加する

#### 注記

デバイスを手動で追加する場合は、事前にデバイスのモデル、デバイス SN、デバイスが接続されている通信ポートなどの情報を確認してください。これらの情報が不完全な場合、追加に失敗する可能性があります。

**ステップ 1:** デバイス >  デバイス追加画面に進みます。

**ステップ 2:** デバイス追加画面で、実際のニーズに応じて追加するデバイスタイプを選択し、対応するデバイス情報を入力します。

**ステップ 3:** 「送信」ボタンをクリックして、デバイスの追加を完了します。



### パワコンの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	パワコン名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。

デバイスの種類	「パワコン」を選択してください。
通信プロトコル	パワコンの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応
デバイスの選択	<p>実際接続したパワコンを設定できます。異なる機種のパワコンが同じポートに接続できます。</p> <p>UT と HT (225 ～ 250kW)、または GT、HT (100 ～ 136kW)、SMT (25 ～ 60kW)、SMT (80kW)、SMT-US、SDT-G3、SDT-G2 を同じ RS485 回路に入れることが可能。</p>
端末アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコン IP アドレスです。実際の発電所状況に合わせて、複数台のパワコンを一括で設定することも可能。実際状況に基づいて設定する必要がない場合は、自動的に生成することを選択できます。通信アドレスが SolarGo アプリ内のアドレスと一致していることを確認してください。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>

## メーターの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	メーター名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
デバイスの種類	「メーター」を選択してください。
通信プロトコル	メーターの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
通信インターフェース	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
デバイスの	Modbus-RTU プロトコルで通信するメーターを使用する場合、表示され

サブタイプ	ます。実際に接続するメーターの型式に合わせて設定してください。選択可能な機種：: GoodWe 電気メーター (GM330)、UMG604PRO、Ankerui-DTSD1352、Schneider-IEM3255、その他。
メーターの用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーターの実際の使用用途に合わせて選択。系統側メーターまたは連系点電力メーターが選択可能。</li> <li>● 系統側メーター: 逆潮流防止に使用されます。選択可能な機種: GoodWe スマートメーター (GM330)。</li> <li>● 連系点メーター: 計測に使用されます。選択可能な機種: Schneider-IEM3255。</li> </ul>
端末アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーターのデバイスアドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際の設定に基づいて設定する必要がある場合は、自動的に生成することを選択できます。</li> <li>● メーターアドレスとパワコンアドレスを同一アドレスに設定しないでください。</li> </ul>
アクセスポイント テーブル	実際の状況に応じてアクセスポイントテーブルを選択します

## 他デバイスの追加

パラメータ	説明
デバイス名称	デバイス名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
デバイス種類	他のデバイスを選択してください。
通信プロトコル	デバイスの通信プロトコルより設定、Modbus-RTU、Modbus-TCP 及び GW-XPB は選択可能。
<b>通信プロトコルを Modbus-RTU に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設</b>	

定してください。	
通信ポート	EzLogger に接続された実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
デバイスのサブタイプ	デバイスのサブタイプを選択します。環境監視装置、箱式変電所、その他が選択可能です。
箱式変電所サブタイプ	箱式変電所を選択する場合は箱式変電所のサブタイプは通常型また分散型に設定できます。
端末 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>
プロトコルタイプ	デバイスに応じて、使用するプロトコルの種類を選択します。
アクセスポイントテーブル	追加デバイスのアクセスポイントテーブルを導入します。
IEC104 転送	追加されたデバイスの転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
Modbus-TCP 転送	追加されたデバイスの転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。	
関連デバイス	通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、関連デバイスを共通にしてください。
通信モード	UDP、TCPClient、TCPServer が選択可能、デバイスの通信モードに応じて設定してください。
ローカル IP アドレス	追加されたデバイスと接続するために、EzLogger の IP アドレスを設定

ス	します。
ローカルポート	EzLogger のポート番号を設定します。デフォルト値は「502」です。
リモート IP アドレス	追加した他のデバイスの IP アドレスを設定します。
リモートポート	追加した他のデバイスのポート番号を設定してください。固定されていないポート番号の場合は「0」を記入してください。
端末アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デバイスアドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>
通信プロトコルを GW-XPB に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。	
通信ポート	EzLogger に接続されている実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1、～ RS485-4 に対応しています。
端末 IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加設備のアドレス。実際の発電所計画に応じて設定されます。</li> <li>● 異なるデバイスのアドレスが重複しないようにしてください。</li> </ul>

### 8.3.5 パワコンのパラメータを設定

手順 1: デバイス >  デバイス追加管理画面に入ります。

手順 2: [パラメータ設定] をクリックし、デバイスのモデルとシリアル番号を選択します。

[確認] をクリックしてパラメータ設定画面に入ります。

手順 3: 実際のニーズに応じて、パラメータを確認または設定します。



## 系統のパラメータ

パラメータ名	説明
グリッドコード	パワコンが設置されている国/地域エリア電力系統規格およびパワコンの応用シーンに応じて設定します。
雷保護モジュール検出スイッチ	雷保護モジュール検出機能を有効または無効にします。
電源オン (系統連系前の)	電源投入指令を出して、系統連系前のセルフテストを許可しま

セルフテストを行う)	す。
電源オフ(系統連系前のセルフテストを行わない)	電源開放指令を出して、系統連系のセルフテストを停止します。
出力モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコンの応用シーンに応じて、パワコンの出力に N 線があるかを設定します。</li> <li>● 0 は三相三線式(3W)、1 は三相四線式(3W/N)を意味します。</li> </ul>
シャドール MPPT 機能スイッチ 1	太陽光発電パネルのストリングに明らかに影がかかっている場合、この機能が有効にすると、パワコンは定期的に MPPT スキャンを行い最大電力値を見つけ出します。
有効電力固定値ディレーティング	パワコンの有効電力出力を固定値に従って調整します。
有効電力ディレーティング パーセンテージ(0.1%)	パワコンの有効電力出力を定格電力のパーセンテージで調整します。
無効電力補償 (PF)	パワコンの力率を設定します。
無効電力補償(Q/S)	パワコン出力の無効電力を設定します。
無効電力補償固定値	固定値に従ってパワコンの無効出力電力を調整します。
夜間無効電力機能スイッチ	夜間無効電力補償機能を有効または無効にします。一部の応用シーンでは、電力会社は、ローカル電力システムの力率が基準に満たさせるために、夜間無効電力補償を実行するようパワコンに要求します。
夜間無効電力パラメータ有効か	この設定が有効すると、パワコンは夜間無効電力補償固定値の設定値に従って無効電力を出力し、そうでない場合は、パワコンはリモート指令に従って無効電力を出力します



夜間無効電力調達率 (0.1%)	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力はパーセントで供給されます。
夜間無効電力補償の固定値	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力は固定値で供給されます。

## 保護パラメータ

パラメータ名	説明
過電圧発動の N 次値 (0.1%)	電力システムの N レベル過電圧保護ポイントを設定します。
過電圧トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル過電圧保護時間を設定します。
電圧低下トリガー N 次値 (0.1%)	電力システムの N レベル不足電圧保護ポイントを設定します。
電圧低下トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル不足電圧保護時間を設定します。
10 分間過電圧トリガー値 (0.1%)	10 分間の過電圧保護ポイントを設定します。
10 分間の過電圧トリップ時間	過電圧保護時間を 10 分間に設定します。
周波数上昇トリガの N 次トリップ時間	電力システムの N レベルの過周波数保護ポイントを設定します。
周波数上昇トリガの N 次トリッピング時間	グリッド N レベルの過周波数保護時間を設定します。
周波数低下トリガ N 次値	電力システムの N レベル不足周波数保護ポイントを設定します。
周波数低下トリガ N 次トリップ	電力システムの N レベル不足周波数保護時間を設定します。

ブ時間	
起動時の系統連系電圧上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの上限値より高い場合連系できません。
起動時の系統連系電圧下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの下限値より低い場合系統連系できません。
起動時の系統連系周波数上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの上限値より高い場合系統連系できません。
起動時の系統連系周波数下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの下限値より低い場合系統連系できません。
起動時の系統連系の待ち時間	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、設備が起動までの待ち時間を設定します。
起動時の系統接続電力負荷率 (0.1%Pn/分)	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、起動時から出力の上昇率を設定します。
再連系電圧上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
再連系電圧下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
再連系周波数上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの周波数の上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
再連系周波数下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャット

	トダウンした後、系統周波数がこの周波数の下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
系統再接続の待ち時間	系統電圧と周波数が正常に戻ったら、パワコンが系統に再連系するまでの待ち時間。
系統再接続出力上昇率 (0.1%Pn/min)	該当国または地域の要件に従って、初回系統連系以外にパワコンが 1 分間あたりの出力増加率。 例: 10 に設定すると、再連系時の出力上昇率が 10%P/Srated%% ということです。
LVRT 機能有効化ビット	LVRT、電力系統が異常で短期間に低電圧に陥った場合、パワコンは電力系統からすぐに切り離さず一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの LVRT 機能がオンになります。
LVRT 深さ n	LVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
LVRT 持続時間 n	LVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
LVRT 作動閾値	LVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
LVRT 終了閾値	LVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
LVRT 正相無効電力 K 値	LVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を出力する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
LVRT ゼロ電流モード有効化	該当国/地域規格には、LVRT 時の出力電流に関する要件があ

ビット	ります。このパラメータを有効にすると、LVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
LVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	LVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、LVRT の時、系統電圧がこの設定値より低ければ、ゼロ電流モードに移行します。
HVRT 有効化ビット	HVRT とは、電力系統が異常で短期間に高電圧になった場合、パワコンが電力系統からすぐに切り離さず、一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの H V R T 機能がオンになります。
HVRT 深さ n	HVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
HVRT 持続時間 n	HVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
HVRT 作動閾値	HVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
HVRT 終了閾値	HVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
HVRT 正相無効電力 K 値	HVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を放出する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
HVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、HVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、HVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
HVRT ゼロ電流モード移行電	HVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、HVRT の時、系

圧閾値	統電圧がこの設定値より高ければ、ゼロ電流モードに移行します。
電流分配モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無効電流と有効電流の分配モードを設定します。</li> <li>● 「0」は無効電力優先で、「1」は有効電力優先です。「2」は定常電流モードを表します。</li> </ul>
FRT 終了時の有効電力復帰モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FRT 終了時の有効電力回復モードです。スロープ復帰、一次ローパスフィルター復帰、要件なし復帰、などのモードに対応しています。</li> <li>● 「0」はオフ、「1」はスロープ応答を表します。「2」は時定数、「3」は応答時間を表します。</li> </ul>
FRT 終了時の有効電力復帰率	FRT から復帰中、有効電流は FRT 前の時点の有効電流に復帰する速度。
FRT 終了時の有効電力復帰一次ローパスフィルタリング	FRT から復旧後、有効電流は 1 次ローパス フィルタリングの特性応答で復帰します
FRT 終了時の無効電力回復モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FRT から復旧後、無効電流回復方法はスロープ回復、一次ローパス フィルター回復、要求なしを対応可能。</li> <li>● 0 はオフを表し、1 は傾斜応答を表し、3 は応答時間を表します。</li> </ul>
FRT 終了時の無効電力回復率	FRT から復旧後、無効電流はスロープ値に従って回復します。
FRT 終了時の無効電力無効電力回復用の一次ローパスフィルター	FRT から復旧後、無効電流は一次ローパスフィルターの特性応答によって回復します。
周波数スルー有効化ビット	周波数スルーを有効にすると、系統周波数が異常な場合で

	も、パワコンは指定した時間内に発電を継続します
N 次不足周波数スルー周波数値_UFn	電力系統周波数低下時スルー開始閾値を設定します。
N 次不足周波数スルー持続時間_UTn	電力系統周波数低下時スルー時間を設定します。
N 次過周波数スルー周波数値_OFn	電力系統周波数上昇時スルー開始閾値を設定します。
N 次過周波数スルー持続時間_OTn	電力系統周波数上昇時スルー時間を設定します

## 特性パラメータ

パラメータ名	説明
PID 防止機能スイッチ	PID 防止機能を ON/OFF にします。
PID 修復機能スイッチ	PID 修復機能を ON/OFF にします。
逆潮流防止スイッチ	逆潮流防止機能を ON/OFF にします。
逆潮流電力パーセンテージ設定	パーセンテージで逆潮流電力を設定します。
三相逆潮流防止モード選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 逆潮流モードを設定します。</li> <li>● 「0」は三相の合計電力を逆潮流させないこと、「1」はどの相でも逆潮流させないこと</li> </ul>
外付けメーターの CT 比	メーターの変流比を設定します。
ISO 閾値設定	設備を保護するため、パワコンはセルフテストを開始するときに入力側の対地間の絶縁抵抗を検出します。検出値が ISO

	閾値設定より低い場合、パワコンは系統に接続されません。
NPE 電圧過電圧障害検出スイッチ	NPE 電圧過電圧障害検出機能を ON/OFF にします
N-PE エラー閾値	N-PE 過電圧故障閾値
有効電力調達応答モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有効電力発信応答モードを設定します。サポート: スロープモードまたは1次ローパスフィルタモード。</li> <li>● 「0」: 無効。「1」はスロープモード。「2」は1次ローパス時定数。「3」は1次ローパス応答時間</li> </ul>
有効電力変化勾配	パワコン有効電力の変化率を設定します。
有効電力調整 ローパス フィルタ時間パラメータ	有効電力調達のローパス フィルタ時間パラメータを設定します。
無効電力調整応答モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無効電力調整モードを設定する。設置无功调度响应的的方式。支持: 斜率模式或一阶低通滤波模式。</li> <li>● 「0」: 無効; 「1」: スロープモード; 「2」一次ローパス時間定数; 「3」: 一次ローパス応答時間。</li> </ul>
無効電力変化勾配	パワコン無効電力の変化率を設定します。
無効電力調整 ローパス フィルタ時間パラメータ	無効電力調整のローパス フィルタ時間パラメータを設定します。

## 電力調整パラメータの設定

パラメータ名	説明
周波数上昇閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が当閾値を超える場合、パワコンが有効電力を下げる必要があります。

周波数上昇パワースロープ(Slope)	Slope モードでは、系統周波数が過周波数点を超えると、パワコンによる有効電力のディレーティングの傾き。
P(F) カーブを有効する	過周波数が発生する時のディレーティングを ON/OFF にします。
周波数低下閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が不足周波数閾値より低い場合、パワコンによる有効電力出力を増加する必要があると規定しています。
電力回復スロープ	電力回復スロープを設定して、過周波数から復旧後の出力上昇率。
周波数ヒステリシス点	過周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
沈黙時間	過周波数ヒステリシス機能の沈黙時間。
周波数上昇終了値	過周波数ディレーティングが終了時の周波数を設定します。
基準出力 (スロープ)	スロープモードでは、系統周波数が周波数超過点を超えると、パワコンが出力する有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値が使用されます
周波数ヒステリシス点	不足周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
出力復旧のスロープ	不足周波数現象が終了後の出力復旧のスロープ。
不足周波数の終点	不足周波数時の出力上昇が終わる周波数を設定します。
基準出力 ((Slope))	スロープモードでは、系統周波数が不足周波数点より低い場合、パワコンは有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値。
不足周波数出力スロープ	スロープモードでは、系統周波数が周波数不足点よりも低い



(Slope)	場合、パワコン出力有効電力ディレーティングの傾き。
沈黙時間	不足周波数ヒステリシス機能により沈黙時間。
PU カーブの有効化	PU カーブを ON にします。
Vn 電圧値(0.1%)	PU カーブに対応する電圧パーセンテージを設定します。
Vn 有効電力値(0.1%)	PU カーブに対応する出力パーセンテージを設定します。
PU カーブ出力応答モード	PU カーブ出力の応答モードを設定します。対応可能: スロー モードまたは一次応答モード。
PU カーブ出力変化率	PU カーブの出力応答モードがスローモードの場合、対応する出力変化スロープを設定します。
PU 曲線の応答時間パラメータ	PU カーブ出力の応答モードが 1 次応答モードの場合、対応する応答時間を設定します。
QU 曲線有効か	QU カーブをオン/オフスイッチ
Vn 電圧値(0.1%)	QU 曲線に対応する電圧パーセンテージを設定します。
Vn 有功値(0.1%)	設置 QU 曲線対応的有功功率百分比。
QU カーブ応答時間パラメータ	QU 曲線の一次応答モードに対する反応時間。
曲線出力イン (0.1%)	QU 曲線の出力パーセントを入力します。
曲線出力 アウト(0.1%)	QU 曲線から出る出力の割合。
cos φ (P) 曲線イネーブ ルビット	cosφ(P)カーブを ON にします。
n 点の出力(0.1%)	cosφ(P) 曲線に対応する出力のパーセンテージ。

n 点 cos φ値(pf,0.001)	cosφ(P) カーブに対応する cosφ 値。
cosφ(P)曲線の応答時間定数	cosφ(P) 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。
曲線電圧イン (0.1%)	cosφ(P) 曲線に入る電圧のパーセンテージ。
曲線電圧 アウト(0.1%)	cosφ(P) 曲線から出る電圧のパーセンテージ。
QP カーブマークイネーブルビット	P カーブマークを ON にします。
QP カーブ Pn	QP 曲線に対応する有効電力のパーセンテージ。
QP カーブ Qn	QP 曲線に対応する無効電力のパーセンテージ。
QP カーブ出力応答時間定数	QP 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。

### 8.3.6 電力量計のパラメータを設定

手順 1: [デバイス] >  [電力量計追加管理画面] に入ります。

手順 2: [パラメータ項目設定に進む] をクリックし、設定する必要があるパラメータを選択します。

手順 3: [読み取り] をクリックして現在の設定値を取得するか、[パラメータ送信] をクリックしてパラメータ設定を行います。

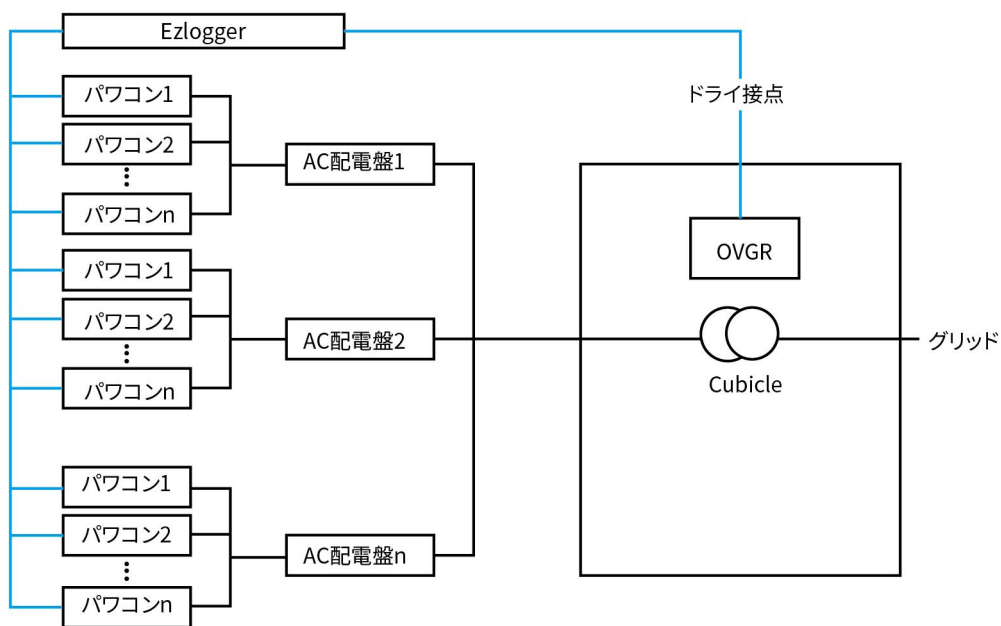


### 8.3.7 出力調整パラメータの設定

#### 8.3.7.1 外部信号によりシャットダウン機能の設定

## OVGR&RPR

日本およびその他エリアの規定に従って、OVGR を EzLogger の任意の DI に接続して、パワコンのリモートシャットダウンを実現します。



手順1: [電力調整] > [リモートシャットダウン] > [OVGR&RPR] を選択して設定画面に入ります。

手順2: 実際のニーズに応じて、OVGR および RPR 機能をオンまたはオフにします。

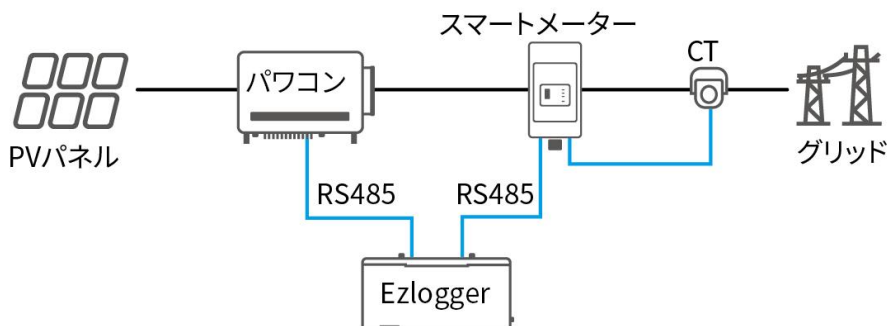


パラメータ名	説明
OVGR	
OVGR 機能	OVGR でのリモートシャットダウン機能を ON/OFF にします。
接続ポート	実際に接続した EzLogger のポートを選択してください。選択可能：DI1、DI2、DI3、DI4、なし。
OVGR の初期設定	OVGR 初期の接点状態、常開と常が選択可能。
系統連系モード	リモートシャットダウンされたパワコンが再起動時に、系統連系の方法、手動と自動が選択可能。
起動ディレイ	系統連系モードが自動の場合、OVGR が初期状態に復帰する時、パワコンが一定時間経って自動連系します。
系統連系復帰	系統連系モードが手動の場合、パワコンが解列から再連系する時に、「系統連系復帰」ボタンをクリックする必要があります。

	自動であれば、パワコンが系統と自動連系になります。
RPR	
RPR 機能	RPR 機能を ON/OFF にします。
接続ポート	実際に接続した EzLogger のポートを選択してください。選択可能： DI1、DI2、DI3、DI4、なし。
RPR の初期接点状態	RPR 初期の接点状態、常開と常閉が選択可能。
系統連系モード	リモートシャットダウンされたパワコンが再起動時に、系統連系の方法、手動と自動が選択可能。
スタートアップディレイ	系統連系モードが自動になる場合、RPR が初期状態に復旧する時、パワコンが一定の時間経って自動連系します。
系統連系復帰	系統連系モードが手動の場合、パワコンが解列から再連系する時に、「系統連系復帰」ボタンをクリックする必要があります。 自動であれば、パワコンが系統と自動連系になります。

### 8.3.7.2 出力調整パラメータの設定

システム内の負荷が太陽光発電量を消費し切れない場合、余った電力が系統に流し逆潮流になります。それを避けたい場合、スマートメータを設置し、データ収集設備より発電量をモニタリングして、系統に流す電力量を制御することが可能です。



手順 1: [電力調整] > [リモートシャットダウン] > [電力制限] を選択して設定画面に入ります。

手順 2: 実際のニーズに応じて、制限された電力の接続パラメータを設定します。



パラメータ名	説明
オングリッドパワコンの設置容量	太陽光発電システム中のすべてのパワコンの合計容量。
最大給電電力	一部の国または地域の要件に従って、設備が実際にシステムに出力できる最大電力を設定します。
制御開始	出力制御機能を ON/OFF にします。
制限方法	<p>実際の状況に応じて、パワコンの出力電力を制御する方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総電力: 系統連系点の総電力が出力電力制限値を超えないように制御します。</li> <li>● 単相電力: 系統連系点の各相電力が出力電力制限値を超えないように制御します。</li> </ul>
逆潮流保護の処理方	逆潮流が発生し、最大保護時間 (デフォルトは 5 秒) を超えると、

式	<p>次の保護措置を選択することが可能：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力パーセンテージ：パワコンが定格出力のパーセンテージで運転を継続します。</li> <li>● パワコン停止</li> </ul>
逆潮流保護の処理電力パーセンテージ	パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。
最大給電電力オフセット値	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワコンが実際に系統に給電できる最大電力の調整可能範囲を設定します。</li> <li>● 系統に最大電力 = 系統への最大給電電力 + 系統への最大給電電力オフセット値</li> </ul>

### 8.3.7.3 通信異常パラメータの設定

手順 1: [電力調整] > [通信異常設定] を選択して設定画面に入ります。

手順 2: 実際のニーズに応じて、パワコンまたは電力量計とデータ収集器間の通信異常時の処理方法を設定します。



パラメータ名

説明

パワコン通信異常の処理	通信異常設定機能を有効または無効にします。有効にすると、データ収集器が通信異常を検出した際に保護措置が取られます。
パワコン通信タイムアウト時間	インバーターとデータ収集器の通信異常が設定時間を超えると、適切な保護措置が取られます。
パワコン異常の処理方法	インバーターとデータ収集器の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力百分比：デバイスは定格出力のパーセンテージに基づいて運転を続けます。</li> <li>● デバイス停止。</li> </ul>
メーター通信異常の処理	本機能を ON にする場合、メーターと EzLogger 間の通信異常時に保護機能が動作します。
メーター異常の処理方法	メーターとの通信に異常があった時に、次の保護措置を採ることが可能： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力の割合：パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。</li> </ul> <p>パワコンが停止されます。</p>
メータ処理電力パーセンテージ	パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。



## 8.3.8 ネットワークパラメータの設定

### 8.3.8.1 LAN の設定

#### 注意

実際の状況に基づいてデフォルトのネットワークパラメータを表示します。必要に応じて、実際のニーズに基づいて変更できます。

**手順 1:** [その他] > [ネットワーク設定] > [LAN 設定] を選択して設定画面に入ります。

**手順 2:** 実際のニーズに応じて、LAN ポートのパラメータを設定します。



パラメータ	説明
ポート選択	実際接続したポート。ETH1, ETH2 対応可能。
IP 設定	<ul style="list-style-type: none"><li>● STATIC 方式を選択すると、関連ネットワーク パラメータは固定なものであり、実際の状況に応じて手動で設定する必要があります。</li><li>● DHCP 方式を選択すると、自動的に IP アドレスが取得され、登録が済みま</li></ul> す。

IP アドレス	EzLogger3000C の IP を変更するためです。発電所の計画に応じて、ルーターと同じサブネットワークに設定します。IP アドレスを変えたら、新しい IP アドレスを使用して再度ログインする必要があります。
サブネットマスク	EzLogger3000C のサブネットマスクを変更します。パワコンが繋がったルーターの実際のサブネットマスクに合わせ設定してください。
デフォルトゲートウェイ	EzLogger3000C のデフォルトゲートウェイを変更します。パワコンが繋がったルーターの実際のデフォルトゲートウェイに合わせ設定してください。
優先 DNS サーバー	WAN と繋がる時 (例え GOODWE のクラウド、サーバーアドレスがドメイン名)、LAN ルーターの IP アドレスに設定してください。
代替 DNS サーバー	通常の場合は、このパラメータの設定は省略できます。 優先 DNS サーバーがドメイン名を解析できない場合は、代替として当 DNS サーバーが使用されます。

### 8.3.8.2 RS485 パラメータの設定

#### 注記

EzLogger がキュービクル、環境監視装置などの第三者機器に接続する場合、「RS485 第三者設定」を設定する必要があります。

**手順 1:** [その他] > [ネットワーク設定] > [RS485 設定] を選択して設定画面に入ります。

**手順 2:** 実際のニーズに応じて、RS485 パラメータを設定します。



パラメータ	説明
名称	EzLogger が実際に接続している RS485 ポートを選択します。
ボーレート	接続機器のボーレートに合わせて設定してください。現在対応可能なボーレートは 300、1200、2400、4800、9600、19200 です。
データビット	現在対応可能なデータビットは 7 ビット、8 ビットです。
検査方法	接続機器の検出方法に合わせて設定してください。現在対応しているのは、パリティなし、奇数パリティ、偶数パリティ、0 パリティ、1 パリティの 5 種類です。
ストップビット	接続機器のストップビットに合わせて設定してください。現在対応可能なのは 1、1.5、2 です。

### 8.3.8.3 データ収集器のホットスポットを設定する

注記

- データ収集器は、近距離での設定のために WiFi ホットスポット信号を提供します。Web または Solargo アプリで WiFi ホットスポット信号に接続後、データ収集器の調整が可能になります。
- ホットスポット信号の SSID とパスワードは変更可能です。変更後は、新しい SSID とパスワードを使用して、WEB または APP に再度ログインしてください。

手順 1: [その他] > [ネットワーク設定] > [データ収集ホットスポット] を選択して設定画面に入ります。

手順 2: 実際のニーズに応じて、ホットスポットの SSID またはパスワードを変更します。



パラメータ	説明
SSID	EzLogger の WIFI 名、初期名称：Log-***。
パスワード	EzLogger の WIFI と接続するためのパスワード。初期パスワード：12345678。

## 9 システム保守

### 9.1 定期保守

#### 危険

EzLogger の操作および保守を行う場合は、まず装置の電源を切ってください。電源が入った状態で操作すると、装置の故障や感電につながります。

パラメータ名	説明	保守の周期
電気接続	電気接続に緩みがないか、ケーブルの外観に安孫がないか、配線の芯が露出したかを確認します。	2回/年~1回/年
環境検査	設置場所の周囲に強い電磁干渉装置や熱を発生するものがないか確認をします。	2回/年~1回/年

### 9.2 システムのメンテナンス (WEB)

#### 9.2.1 アップデート

#### 注記

アップデートの間、電源をONのまましてください。電源がオフすると、アップデートが失敗しかねません。

#### USD でのアップデート (EzLogger のみに適用)

- ステップ 1: アフターサービスに連絡して機器アップグレード パッケージを入手し、容量が 32G 以下の FAT32 形式の USB を準備してください。
- ステップ 2: USB のルート ディレクトリに新しいフォルダーを作成し、それに

「collector」という名前を付けて、アップグレード パッケージを「collector」フォルダーに保存します。

- ステップ 3: USB を EzLogger の USB ポートに挿入すると、EzLogger がデバイス アップグレード パッケージを検出してアップデートを開始します。その間アラーム表示灯 が速いスピードで点滅します。アラーム表示灯が速いスピードで点滅しなければ、アップグレードが開始しません。アップデートパッケージと USB を再確認してください。
- ステップ 4: アップデートが完了すると、EzLogger が自動的に再起動します。

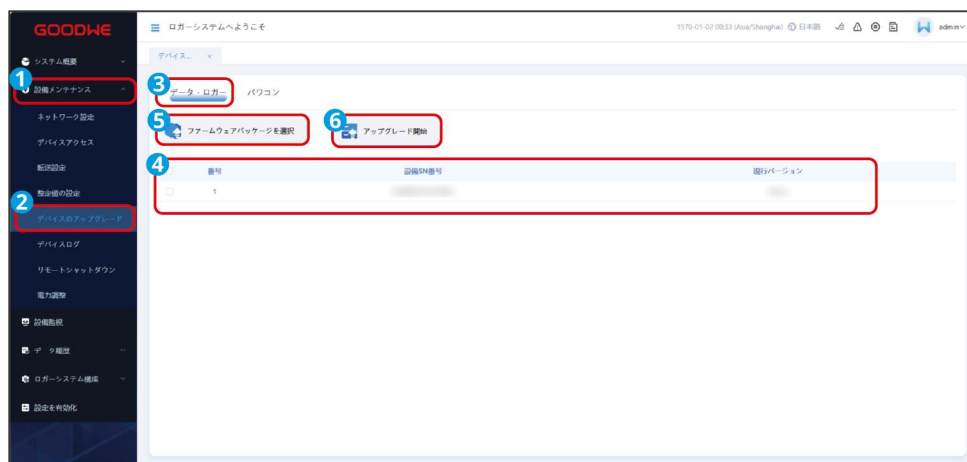
## ウェブでアップデート

ステップ 1: アフターサービスに連絡して機器アップデート パッケージを入手します。

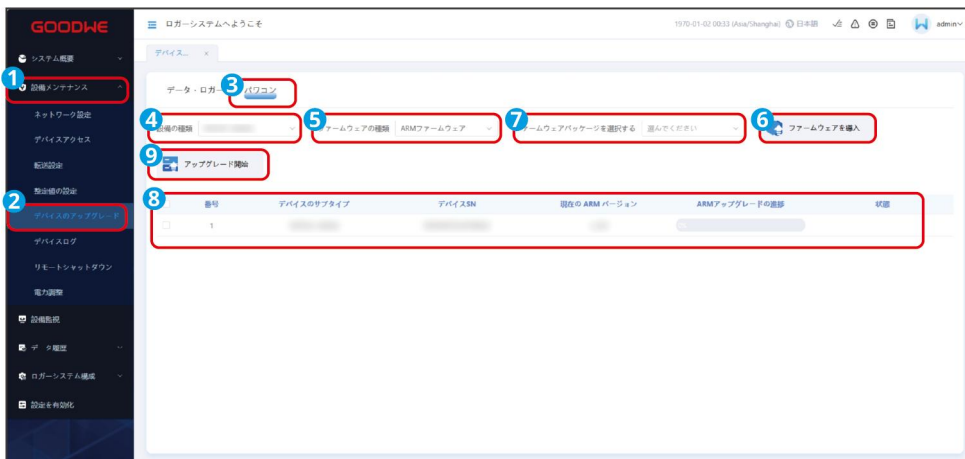
ステップ 2: デバイス アップデート パッケージを PC に保存し、以下の手順に従って

EzLogger をアップデートします。

## EzLogger のアップデート



## パソコンのアップデート



## 注記

- アップデート中、ページは自動的にログインのページにジャンプし、アップデートの間にはログインできません。
- アップデートには約 10 分かかります。10 分後に再度ログインしてください。

## 9.2.2 システムのメンテナンス



パラメータ名	説明
ロガーを再起動する	システムをリセットすると、EzLogger が自動的に再起動します。
工場出荷設定に戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時の設定に戻す：デバイスの接続情報、転送設定、ログインパスワードおよびログイン情報を削除します。</li> <li>● 通信設定を復元（オプション）：ネットワークカードの設定を</li> </ul>

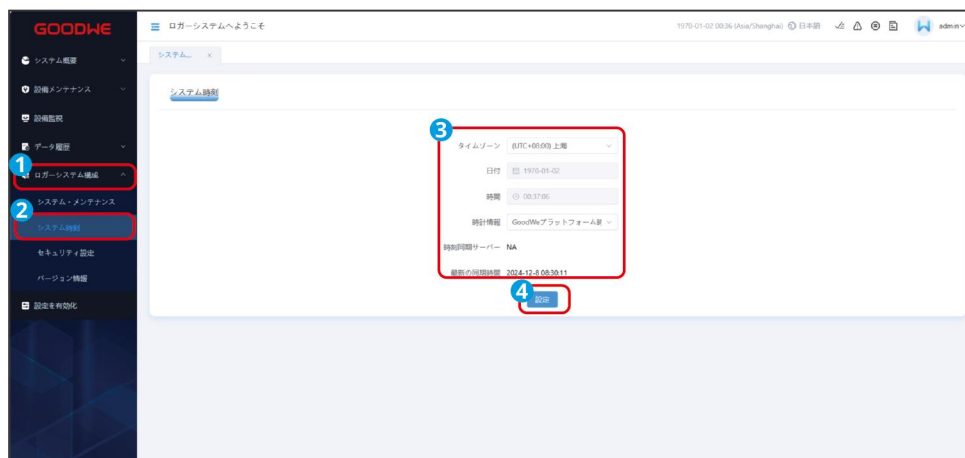
	<p>復元します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● データ収集情報を復元（オプション）：ログ、履歴アラーム、履歴データなどの情報を削除します。</li> </ul>
すべての設定ファイルをエクスポートします	EzLogger を交換する前に、EzLogger の構成ファイルをローカル PC に導出する必要があります。
すべての設定ファイルをインポートします	EzLogger を交換した後、ローカル PC に導出された構成ファイルを新しい EzLogger に導入します。導入が成功すると、EzLogger が再起動し、構成ファイルが有効になります。パラメータが正しく設定されていることを確認してください。

### 9.2.3 システム時刻設定

#### 注記

日付と時刻を変更すると、システムの発電量と実績 データの記録の整合性に影響します。タイムゾーンとシステム時刻を勝手に変更しないでください。

ステップ 1：以下の手順でシステム時刻を設定してください。

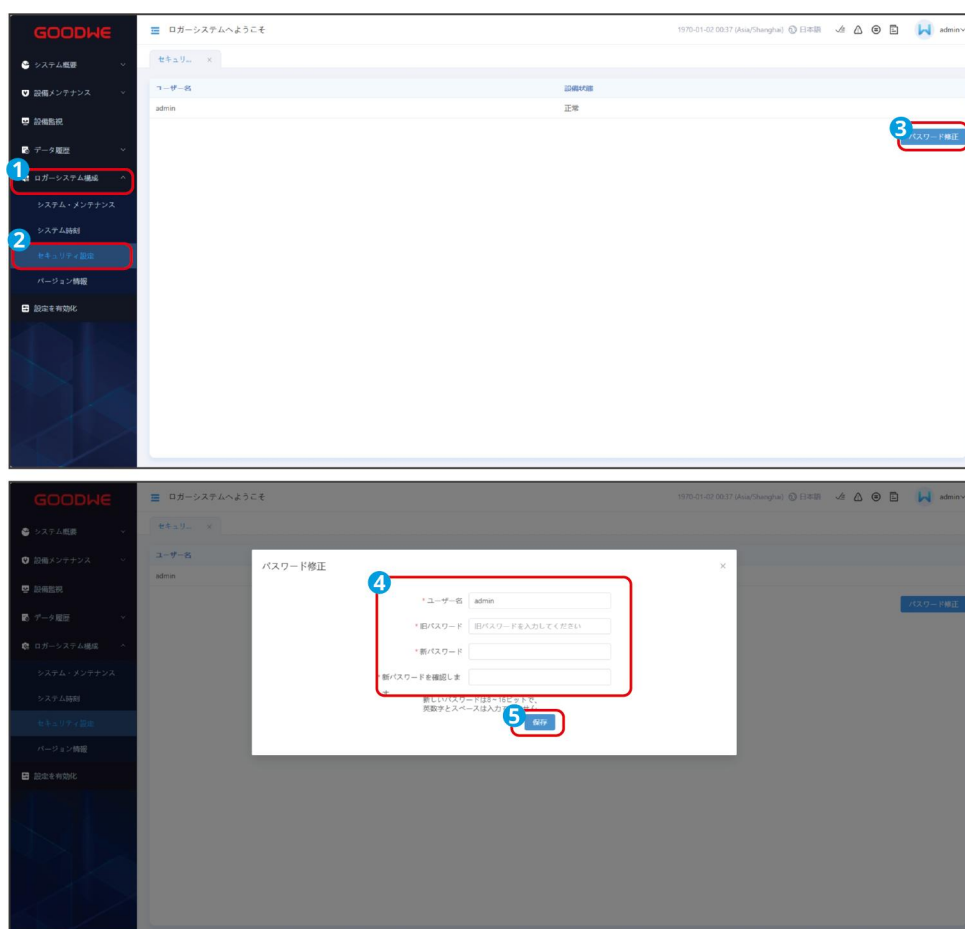


パラメータ名	説明
タイムゾーン	時計合わせ方式が <b>管理システム</b> に指定されると、 <b>手動で変更可能</b>



日付	です。
時間	
時計合わせ方式	時計合わせ方式を設定します。選択可能：NTP、IEC104、Modbus-TCP、管理システム、GoodWe クラウドで時刻同期。

### 9.2.3 ログインパスワードの変更



## 9.3 システムメンテナンス（アプリ）

### 9.3.1 システムのメンテナンス

手順 1: [その他] > [システムメンテナンス] をクリックして、システムメンテナンス画面に入ります。

手順 2: 実際のニーズに応じて、データ収集を再起動するか、工場出荷時の設定に戻します。



パラメータ名	説明
ロガーを再起動する	システムをリセットすると、EzLoggerが自動的に再起動します。
工場出荷設定に戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時の設定に戻す：デバイスの接続情報、転送設定、ログインパスワードおよびログイン情報を削除します。</li> <li>● 通信設定を復元（オプション）：ネットワークカードの設定を復元します。</li> <li>● データ収集情報を復元（オプション）：ログ、履歴アラーム、履歴データなどの情報を削除します。</li> </ul>

### 9.3.2 システム時刻設定

#### 注記

日付と時刻を変更すると、システムの発電量と実績データの記録の整合性に影響します。タイムゾーンとシステム時刻を勝手に変更しないでください。

**手順 1:** [その他] > [システムメンテナンス] をクリックして、システムメンテナンス画面に入ります。

**手順 2:** 実際のニーズに応じて時刻ソースを選択し、システム時間を設定します。



パラメータ名	説明
タイムゾーン	時計合わせ方式が <b>管理システムに指定されると、手動で変更可能です。</b>
日付	
時間	
時計合わせ方式	時計合わせ方式を設定します。選択可能：NTP、IEC104、Modbus-TCP、管理システム、GoodWe クラウドで時刻同期。

### 9.3.3 ログインパスワードを変更する

**手順 1:** [その他] > [セキュリティ設定] をクリックして、セキュリティ設定画面に入ります。

**手順 2:** [パスワード変更] をクリックし、実際のニーズに応じて新しいログインパスワードを設定します。



### 9.3.4 バージョン情報を確認する

手順 1: [その他] > [バージョン情報] をクリックして、データ収集器の現在のバージョンを確認します。



## 9.4 EzLogger の電源オフ

### 危険

- EzLogger の操作および保守を行う場合は、まずその電源を切ってください。電源が入ったま

ま操作すると、EzLogger の破損や感電のリスクがあります。

ステップ 1: 電源アダプターをコンセントから抜きます。

ステップ 2: EzLogger から電源アダプターを取り外します。

## 9.5 EzLogger の取外し

### 警告

- EzLogger の電源がオフになっていることを確認してください。
- EzLogger を操作するときは、個人用保護具を着用してください。

ステップ 1: 電源ケーブルや通信ケーブルも含めて、EzLogger からすべての電気配線を外してください。

ステップ 2: 機器を取り外します。

ステップ 3: 機器を適切に保管します。将来に機器を使用する可能性がある場合は、保管条件が要件を満たしていることを確認してください。

## 9.6 EzLogger の廃棄

EzLogger が使用できず、廃棄する必要がある場合は、設置先の国/地域の電気廃棄物処理要件に従って廃棄してください。一般家庭ごみとして処分しないでください。

## 9.7 トラブルシューティング

以下の方法でトラブルシューティングを行っても解決しない場合は、アフターサービスセンターまでご連絡ください。

アフターサービスセンターにお問い合わせいただく際は、問題を迅速に解決するために次の情報を収集してください。

1. 機器情報（シリアル番号、ソフトウェアバージョン、機器設置時期、障害発生時間、障害発生頻度等。

2. 機器の設置環境：問題の分析に役立つ写真、ビデオ、その他の資料のご提供を勧めます。
3. 電力系統の状態。

No.	故障現象	故障原因	解決方法
1	EzLogger が電源投入できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源アダプターの DC 出力が EzLogger のポートに正しく接続されていません。</li> <li>2. 電源アダプターがコンセントに正しく接続されていません。</li> <li>3. 電源アダプターが故障しています。</li> <li>4. 設備の故障。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源アダプターが EzLogger に正しく接続されていることを確認します。</li> <li>2. 電源アダプターがコンセントに正しく接続されていることを確認します。</li> <li>3. 電源アダプターを交換します。</li> <li>4. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</li> </ol>
2	LAN 通信で WEBUI に登録できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オペレーティング システムまたはブラウザのバージョンが低すぎます。</li> <li>2. ネットワーク ケーブルが間違っただポートに接続されています。</li> <li>3. PC の IP アドレスが正しく設定されていません。</li> <li>4. Web ログイン アドレスが間違っています。</li> <li>5. ブラウザが異常あり。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オペレーティング システムのバージョンが Windows 7 以降、ブラウザのバージョンが Chrome52、Firefox58 以降であることを確認します。</li> <li>2. 静的 IP でログインする場合は、ネットワーク ケーブルが ETH2 ポートに接続されていることを確認してください。</li> <li>3. PC と EzLogger の IP アドレスが同じネットワーク セグメ</li> </ol>

		<p>6. 設備の故障。</p>	<p>ント内にあるかどうかを確認します。</p> <p>4. ブラウザに http://XX.XX.XX.XX または https://XX.XX.XX.XX:443 (XX.XX.XX.XX は EzLogger の IP) を入力して WEBUI をログインします。</p> <p>5. ブラウザの履歴またはキャッシュをクリアします。</p> <p>6. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
<p>3</p>	<p>WIFI で WEBUI に登録できない</p>	<p>1. オペレーティング システムまたはブラウザのバージョンが低すぎます。</p> <p>2. ワイヤレス信号が弱い。</p> <p>3. ブラウザのログイン Web アドレスが間違っています。</p> <p>4. ブラウザの異常あり。</p> <p>5. 設備の故障。</p>	<p>1. Windows 7 以降のオペレーティング システムを使用し、ブラウザとして Chrome52、Firefox58 以降を使用します。</p> <p>2. 障害物がない場合、PC または携帯電話と EzLogger 間の推奨距離は 15m です。距離が離れすぎていないか確認してください。</p> <p>3. ブラウザに http://XX.XX.XX.XX または https://XX.XX.XX.XX:443 と入力</p>

			<p>します (XX.XX.XX.XX は EzLogger の IP アドレス、443 がデフォルトです) https ポート設定) を使用して Web にログインします。</p> <p>4. ブラウザの履歴またはキャッシュをクリアします。</p> <p>5. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
4	EzLogger の Wi-Fi ホットスポットに接続できません	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EzLogger の Wi-Fi ホットスポットがオンになっていません</li> <li>2. Wi-Fi アンテナが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません</li> <li>3. EzLogger の距離が Wi-Fi 通信距離を超えています</li> <li>4. 設備の故障。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有線ネットワーク経由で Web にログインし、Wi-Fi ホットスポット機能をオンにして、ホットスポットに再接続します。</li> <li>2. 付属品バッグ内の Wi-Fi アンテナが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。</li> <li>3. 障害物がない場合、PC または携帯電話と EzLogger 間の距離を 15m 以内におさえてください。距離が離れすぎると故障の原因になる可能性があります。</li> </ol>



			4. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
5	自動検索を使用してデバイスを検索できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パワコンは初回でネットワークと接続ではないことが原因、自動デバイス検索機能は初回のみ適用されます。</li> <li>2. パワコンの電源が入っていません。</li> <li>3. RS485 の配線ミス（逆接続、接続抜け、接続緩みなど）</li> <li>4. 設備の故障。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しいデバイスを追加する必要がある場合は、デバイスアクセスを通じて追加してください。</li> <li>2. パワコンの電源が入っているかどうかを確認してください。</li> <li>3. RS485 配線をチェックして、配線が正しく、しっかりと接続されており、接続漏れがないことを確認してください。</li> <li>4. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</li> </ol>
6	有線ネットワーク経由でクラウドプラットフォームにデータをアップロードできない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EzLogger に接続されているルーターまたはネットワークスイッチは、外部ネットワークに接続できません。</li> <li>2. 取得方法や IP アドレスなどのネットワークパラ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルーターまたはスイッチのネットワーク状態を確認してください。</li> <li>2. ネットワークパラメータの設定を確認してください。</li> <li>3. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡くだ</li> </ol>

		<p>メータが正しく設定されていません。</p> <p>3. 設備の故障。</p>	<p>さい。</p>
7	<p>USB メモリ経由でシステムをアップデートできない</p>	<p>1. USB メモリのフォーマットが正しくありません。</p> <p>2. アップグレード パッケージが指定されたディレクトリに保存されていません。</p> <p>3. 設備故障。</p>	<p>1. USB メモリのフォーマットが FAT32 であるかどうかを確認します。</p> <p>2. USB メモリのルート ディレクトリに新しいフォルダーを作成し、「collector」という名前を付けて、デバイス アップグレード パッケージを「collector」フォルダーに保存します。</p> <p>3. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
8	<p>WEBUI 経由でパソコンをアップデートできない</p>	<p>1. パソコンはリモートアップデート機能に対応していません。</p> <p>2. アップグレード ファイルが正しくないか、壊れています。</p> <p>3. アップグレードファイルがパソコンのバージョン</p>	<p>1. パソコンがリモートアップデートに対応しているかを確認します。</p> <p>2. 販売店またはアフターサービスセンターに問い合わせ、正しいアップデートファイルを提供してください。</p> <p>3. RS485 通信配線が正しく、信</p>

		<p>と一致しません。</p> <p>4. RS485 通信線の接続が異常です。</p> <p>5. 設備故障。</p>	<p>頼性があることを確認してください。</p> <p>4. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
9	逆潮流防止機能の異常	<p>1. EzLogger とパワコンまたは電力メーター間の RS485 通信ラインが緩んでいるか、脱落しています。</p> <p>2. 逆潮流防止機能が有効になっていない、または機能を有効にしても設定が有効になりません。</p> <p>3. パワコンのソフトウェアバージョンは逆潮流防止機能に対応していません。</p> <p>4. 設備故障。</p>	<p>1. RS485 通信線が正しくしっかりと接続されているか確認してください。</p> <p>2. WEBUI で逆潮流防止機能が有効になっているか確認してください。</p> <p>3. パワコンの機種やソフトウェアのバージョンが逆潮流防止機能に対応しているかどうかは、販売店またはアフターサービスセンターにお問い合わせください。</p>
10	OVGR&RPR 保護機能が異常	<p>1. EzLogger とパワコン間の RS485 通信線が緩んでいるか、抜けています。</p> <p>2. 外部保護装置の配線が間違っています。</p>	<p>1. RS485 通信線が正しくしっかりと接続されているか確認してください。</p> <p>2. 外部保護装置の配線が正しくしっかりと接続されてい</p>

		<p>3. Web パラメータの設定が正しくありません。</p> <p>4. 設備故障。</p>	<p>るかどうかを確認してください。</p> <p>3. パラメータの設定が正しいか確認してください。</p> <p>4. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
11	<p>EzLogger は IEC104、Modbus-TCP、FTP が失敗する、または電子メールシステムにデータがない</p>	<p>1. EzLogger と監視プラットフォーム間のネットワークの問題。</p> <p>2. 転送設定パラメータが正しくありません。</p> <p>3. 設備の故障。</p>	<p>1. EzLogger と監視プラットフォーム間のネットワークが正常かどうかを確認してください。</p> <p>2. 転送パラメータの設定が正しいか確認してください。</p> <p>3. 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。</p>
12	<p>デバイスの検索が完了した後、アドレスを設定できません。</p>	<p>インバーターの ARM バージョンが低すぎます。</p>	<p>販売店またはアフターサービスセンターにお問い合わせください。</p>

## 10 技術データ

技術パラメータ	EzLogger3000C
<b>設備管理</b>	
接続できる設備の数	100
<b>電源</b>	
アダプター	交流出力： 100~240V, 50/60Hz 直流出力： 24V
直流入力 (V)	24
消費電力 (W)	<15
<b>通信ポート</b>	
イーサネット	2
RS485	COM x 4
WIFI (現地)	802.11 b/g/n, 2.412GHz-2.484GHz
4G	オプション
デジタル/アナログ 入力/出力	DI×4, DO×2, AI×4
PT100/PT1000	PT100×1, PT1000×1
電源出力ポート	12V, 100mA
<b>通信プロトコル</b>	
イーサネット	Modbus-TCP, IEC 60870-5-104
RS485	Modbus-RTU, IEC 60870-5-103 (標準),

	DL/T645
HCI (ヒューマンコンピュータインタラクション)	
LED	LED×4
WEB	WEBUI
USB	USB 2.0 x 1
<b>機械的パラメータ</b>	
寸法 (幅×高さ×厚さ mm)	255*47.5*173
重量(kg)	0.8
設置方法	壁掛け、ガイドレール、テーブル置き
<b>環境パラメータ</b>	
運転温度範囲(°C)	-30~+60
保管温度範囲(°C)	-40~+70
相対湿度	5~95%
最高海拔 (m)	5000
保護等級	IP20

## 11 付録

### 11.1 FAQ (よくある質問)

#### 11.1.1 Web を通じて逆流防止を設定する方法

前提条件：

- デバイスのユーザーマニュアルを参照し、システム内のインバーター、データ収集器、電力量計などの機器を正しく設置し、通電を完了させてください。
- 8.2.2「Web インターフェースへのログイン」セクションを参照し、Web インターフェースにログインしてください。
- システムのネットワーク接続が正常に完了し、すべてのインバーターがオンラインであることを確認してください。

**手順 1:** Web インターフェースのホームページで、メニューリストから [デバイスメンテナンス] > [デバイス接続] > [自動検索でデバイスを追加] をクリックします。

**手順 2:** (オプション) もし電力量計が第三者製のものであれば、デバイス接続画面に戻り、[手動追加] をクリックしてデバイスを追加します。

**手順 3:** (オプション) デバイスタイプとして「電力量計」を選択し、画面に従ってデバイスの実情報の情報を入力します。その後、画面の指示に従って情報を入力し、[確認] をクリックして情報の入力を完了します。

**手順 4:** メニュー リストで [設定が有効になる] をクリックして、設定有効の画面に入り、パワコンとメーターの追加を完了します。

**手順 5:** [デバイスメンテナンス] > [電力調整] > [電力制限] をクリックして、逆流防止設定画面に入ります。

**手順 6:** 画面の指示に従って、実際の逆流防止の要件に合わせて関連情報を入力します。

"デバイス追加の手順について疑問がある場合は、8.2.4「デバイス追加」セクションを参照してください。

電力制限設定について疑問がある場合は、8.2.11「電力調整パラメータの設定」セクションを参照してください。"

## 11.1.2 Web を通じて IEC104 パラメータを設定する方法

### 前提条件:

- 機器のユーザーマニュアルを参考にして、システム内のインバーター、データ収集器、電力計などの機器の設置と電源投入を正しく行ってください。
- 8.2.2 Web インターフェースにログインする章を参考にして、Web インターフェースにログインしてください。
- システムのネットワーク接続が成功し、すべてのインバーターがオンラインであることを確認してください。

**ステップ 1:** メニューリストから「デバイス管理」>「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワークパラメータ設定画面に入ります。

**ステップ 2:** LAN タブをクリックし、取得方法を STATIC に設定、ローカルエリアネットワークを選択し、実際の状況に応じて IP 情報を入力します。

**ステップ 3:** メニューリストからデバイス管理>転送設定をクリックして、転送設定画面に入ります。

**ステップ 4:** IEC104A 設定画面で「チャンネル追加」をクリックし、画面に従って実際の情報を入力し、確認をクリックして情報入力を完了します。

**ステップ 5:** メニューリストから「設定適用」をクリックして設定適用画面に入り、「適用」をクリックして IEC104 機能の設定を完了します。

**ステップ 6:** 実際のニーズに基づいて、第三者ソフトウェアを調整し、データ収集器との接続を確立します。

IE104 転送設定について疑問がある場合は、8.2.9 転送パラメータ設定の章を参照してください。

## 11.1.3 Web を通じて Modbus-TCP パラメータを設定する方法

### 前提条件:



- 機器のユーザーマニュアルを参考にして、システム内のインバーター、データ収集器、電力計などの機器の設置と電源投入を正しく行ってください。
- 8.2.2 Web インターフェースにログインする章を参考にして、Web インターフェースにログインしてください。
- システムのネットワーク接続が成功し、すべてのインバーターがオンラインであることを確認してください。

**ステップ 1:** メニューリストから「デバイス管理」>「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワークパラメータ設定画面に入ります。

**ステップ 2:** LAN タブをクリックし、取得方法を STATIC に設定し、ローカルエリアネットワークを選択して、実際の状況に応じて IP 情報を入力します。

**ステップ 3:** メニューリストから「デバイス管理」>「転送設定」をクリックして、転送設定画面に入ります。

**ステップ 4:** Modbus-TCP 設定画面で「チャンネル追加」をクリックし、画面に従って実際の情報を入力し、「確認」をクリックして情報入力を完了します。

**ステップ 5:** メニューリストから「設定適用」をクリックして設定適用画面に入り、「適用」をクリックして IEC104 機能の設定を完了します。

**ステップ 6:** 実際のニーズに基づいて、第三者ソフトウェアを調整し、データ収集器との接続を確立します。

Modbus-TCP 転送設定について疑問がある場合は、8.2.9 転送パラメータ設定の章を参照してください。

### 11.1.4 ネットワークデバイス検索後に新しいデバイスを追加する方法

以下の状況以外のケースが発生した場合は、データ収集器の再充電を行うか、販売サービスセンターに連絡することをお勧めします。

**シナリオ 1:** ネットワーク内の既存のデバイスに変更は必要なく、ネットワーク設定が適用されていない。

#### Web

**ステップ 1:** デバイス接続画面で「自動検索」をクリックし、「検索開始」を選択します。画面の指示に従って新しいデバイスの検索を完了します。

"

**ステップ2:** 新しいデバイスの検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しいデバイスにアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

**ステップ3:** 画面の指示に従って、設定を適用します。設定が完了したら、設定画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

#### **App**

**ステップ1:** メニューから「デバイス」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択し、画面の指示に従って新しいデバイスの検索を完了します。

**ステップ2:** 新しいデバイスの検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しいデバイスにアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

**ステップ3:** 画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設定画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

#### **App**

**ステップ1:** メニューから「デバイス」>「ネットワーク設定」>「・・・」>「履歴の削除」を選択します。

**ステップ2:** 10分間待機するか、インバーターを再起動後、「デバイス」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して検索を完了します。

**ステップ3:** 画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設定画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

**シナリオ4:** ネットワーク内の既存デバイスに変更が必要で、ネットワーク設定が適用済みの場合。

#### **Web**

**ステップ1:** デバイス接続画面で「自動検索」をクリックし、「再設定」を選択します。画面の指示に従って再度ログインし、デバイス接続画面で「自動検索」>「検索開始」を選択して新しいデバイスの検索を完了します。

**ステップ2:** 新しいデバイスの検索が完了したら、新しいデバイスを選択し、実際のニーズに応じて「一括アドレス割り当て」を選択するか、手動で端末アドレスを入力します。

**ステップ3:** 画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、デバイス接続画面

に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

#### **App**

**ステップ 1:** メニューから「デバイス」>「ネットワーク設定」>「再設定」を選択します。

画面の指示に従って再度ログインし、「デバイス」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して新しいデバイスの検索を完了します。

**ステップ 2:** 新しいデバイスの検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しいデバイスにアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

**ステップ 3:** 画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、デバイス画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

## **固德威技術股份有限公司(GoodWe Technology Co., Ltd.)**

中国 蘇州 高新区紫金路 90 号

[www.goodwe.com](http://www.goodwe.com)

[service@goodwe.com](mailto:service@goodwe.com)

## **GoodWe Japan 株式会社**

東京都中央区日本橋小舟町 8-6 H<sup>1</sup>O 日本橋小舟町 6F